

1 畜産物国内流通構造調査

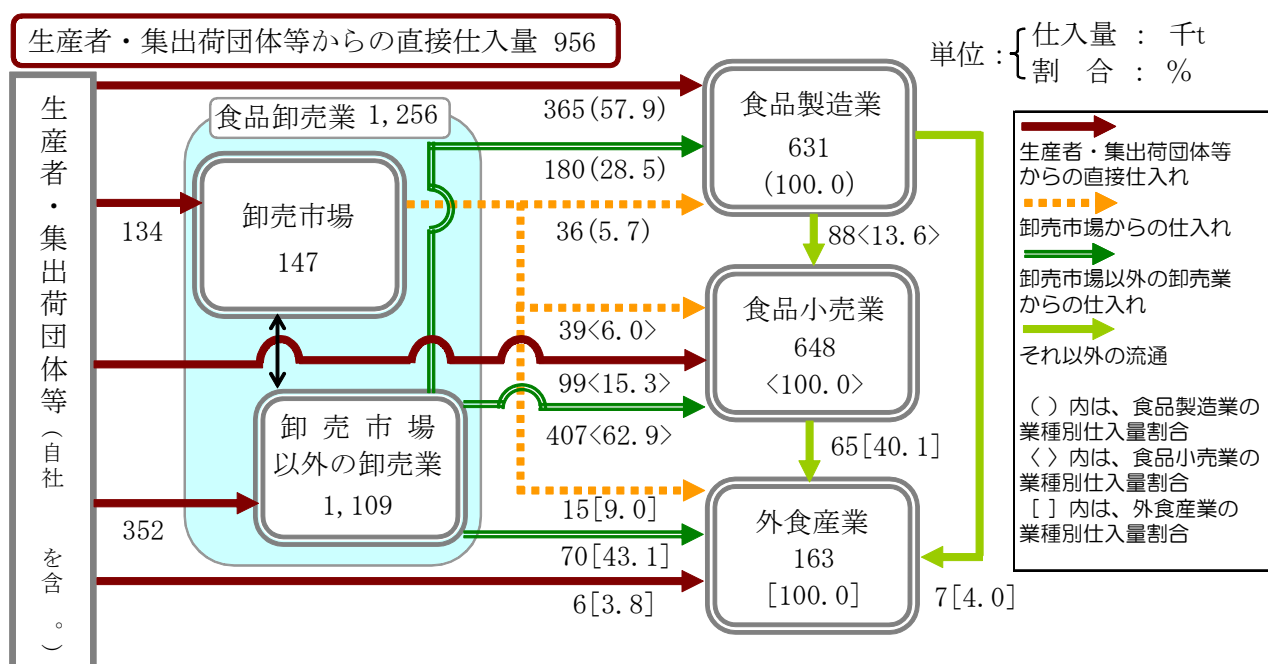
(1) 国内産畜産物の流通経路

ア 豚肉

平成20年度の食品産業における国内産豚肉の生産者・集出荷団体等からの直接仕入量は95万6千tである。

また、各業種別に仕入先別仕入量割合をみると、食品製造業では、生産者・集出荷団体等からの仕入れが57.9%、食品小売業、外食産業では、卸売市場以外の卸売業からの仕入れが62.9%、43.1%とそれぞれ最も高くなっている。

図1 国内産豚肉の主な流通経路別仕入量及び仕入量割合(部分肉ベース)
(全国)(平成20年度)



注：1 本図は、各業種の仕入先別仕入量を主要な流通経路（食品卸売業、食品製造業、食品小売業、外食産業の順の流れ）に沿って示したものであり、それ以外の流れや直接消費者等へ流通するものは表示していない。

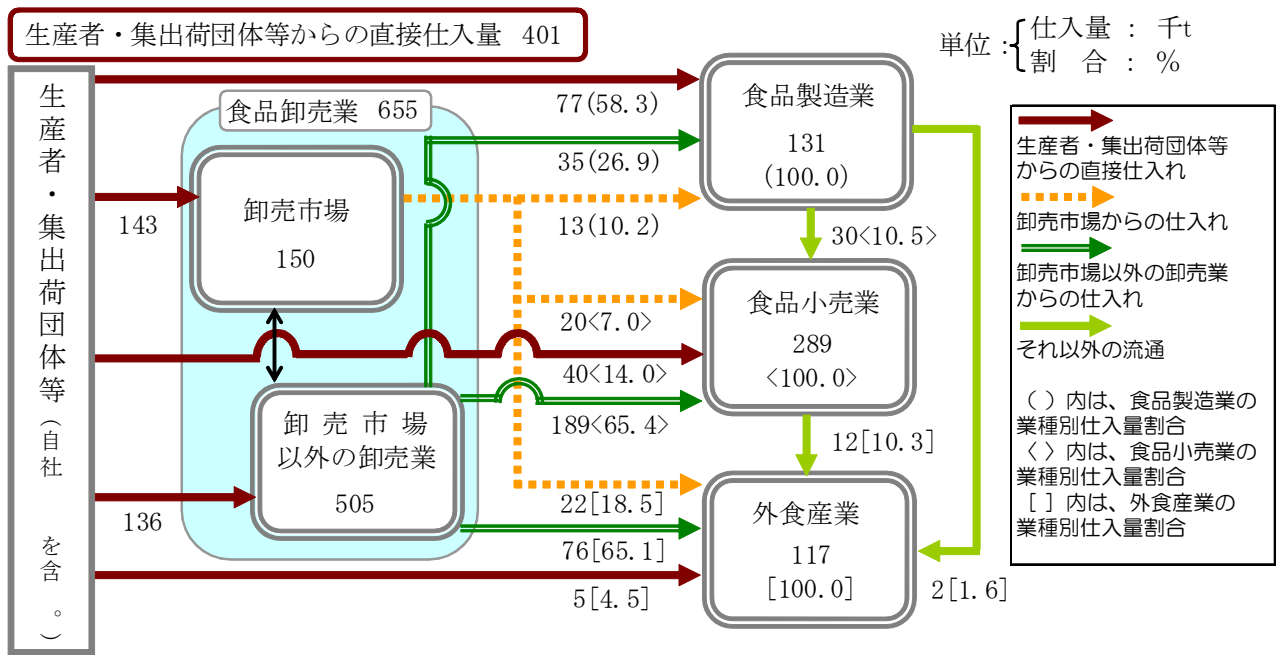
2 □内の数値は、同業種間の流通量を含んだ各業種の延べ仕入量である。また、各矢印に付された数値は、主な仕入先別仕入量であり、括弧内の数値は、各業種別の延べ仕入量に占める割合である。このため、割合を合計しても100%には満たない。
(注1、2とも以下図6まで同じ。)

イ 牛肉

食品産業における国内産牛肉の生産者・集出荷団体等からの直接仕入量は40万1千tである。

また、各業種別に仕入先別仕入量割合をみると、食品製造業では、生産者・集出荷団体等からの仕入れが58.3%、食品小売業、外食産業では、卸売市場以外の卸売業からの仕入れが65.4%、65.1%とそれぞれ最も高くなっている。

図2 国内産牛肉の主な流通経路別仕入量及び仕入量割合(部分肉ベース)
(全国)(平成20年度)

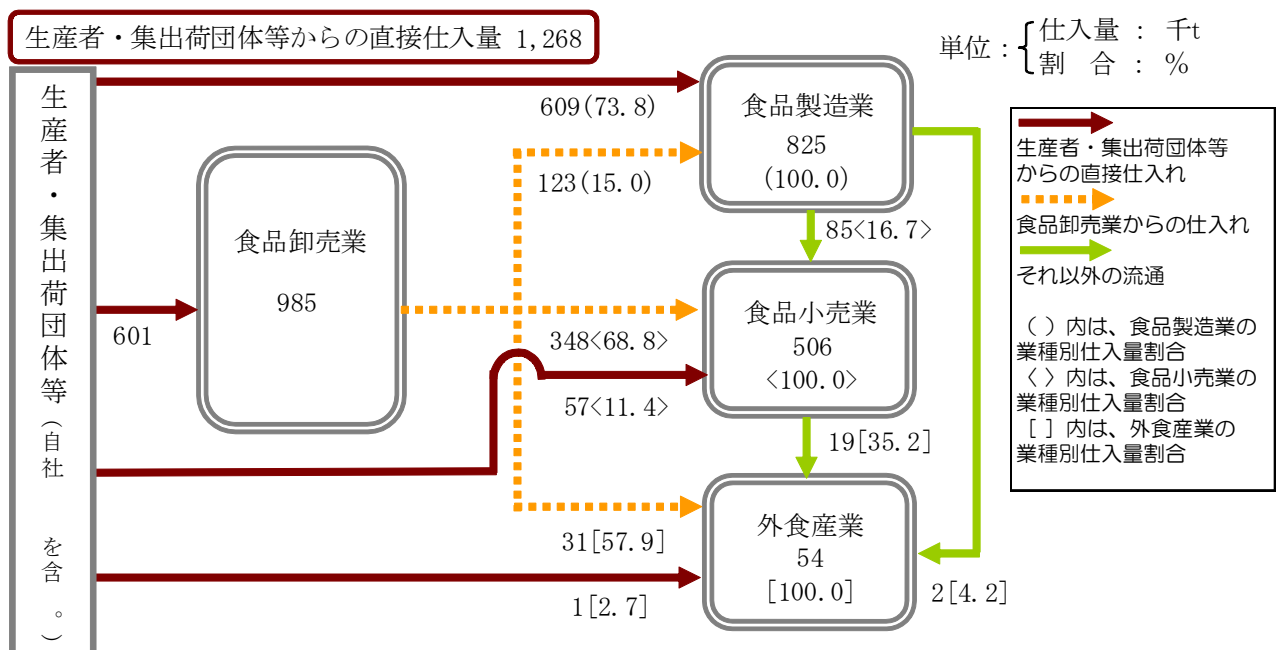


ウ 鶏肉

食品産業における国内産肉の生産者・集出荷団体等からの直接仕入量は126万8千tである。

また、各業種別に仕入先別仕入量割合をみると、食品製造業では、生産者・集出荷団体等からの仕入れが73.8%、食品小売業、外食産業では、食品卸売業からの仕入れが68.8%、57.9%とそれぞれ最も高くなっている。

図3 国内産鶏肉の主な流通経路別仕入量及び仕入量割合(実量ベース)
(全国)(平成20年度)



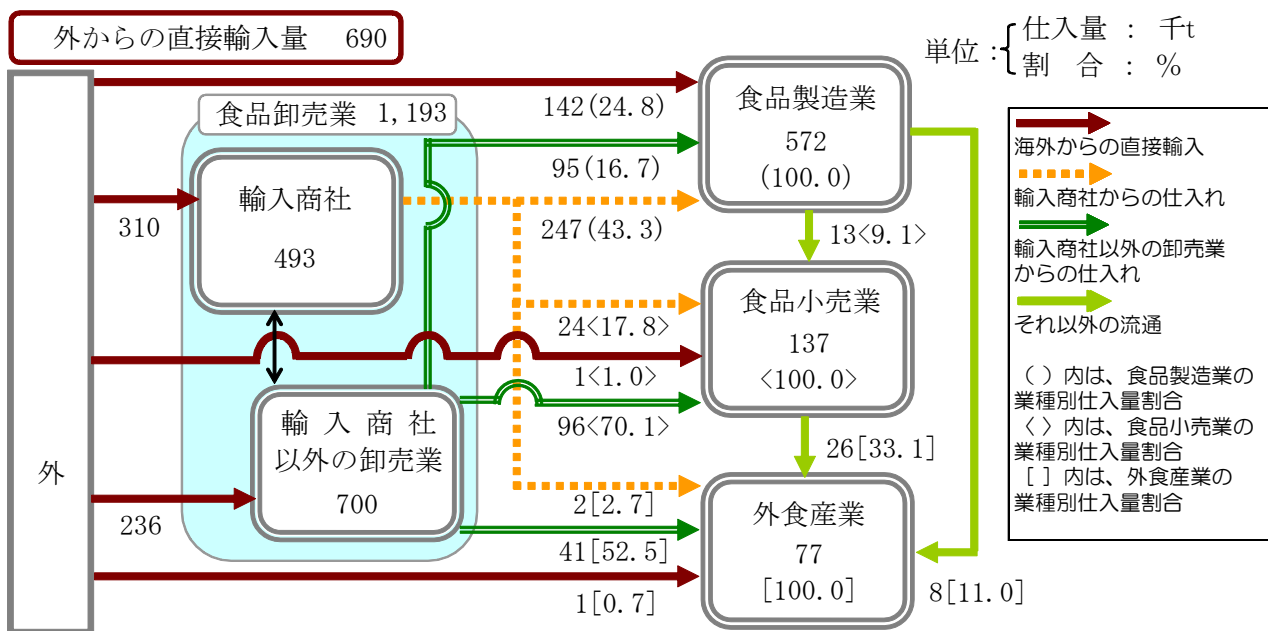
(2) 輸入畜産物の流通経路

ア 豚肉

食品産業における輸入豚肉の 外からの直接輸入量は69万 tである。

また、各業種別に仕入先別仕入量割合をみると、食品製造業では、輸入商社からの仕入れが43.3%、食品小売業、外食産業では、輸入商社以外の卸売業からの仕入れが70.1%、52.5%とそれぞれ最も高くなっている。

図4 輸入豚肉の主な流通経路別仕入量及び仕入量割合(部分肉ベース)
(全国)(平成20年度)

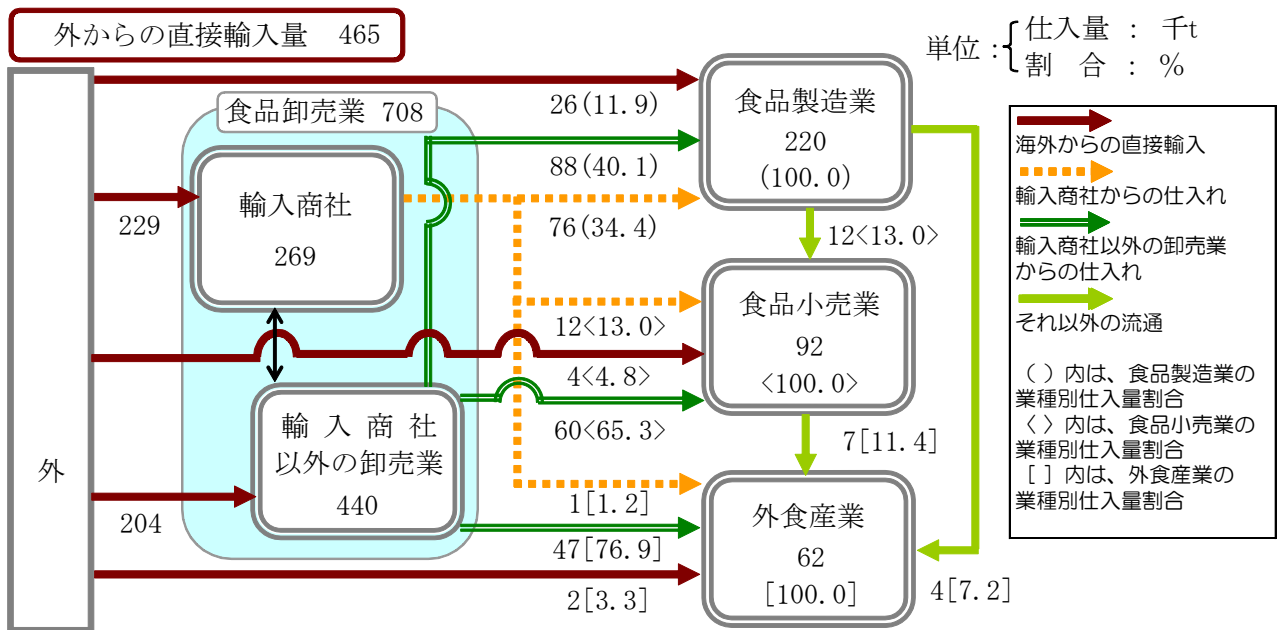


イ 牛肉

食品産業における輸入牛肉の 外からの直接輸入量は46万 千tである。

また、各業種別に仕入先別仕入量割合をみると、食品製造業、食品小売業及び外食産業ともに輸入商社以外の卸売業からの仕入れが40.1%、65.3%、76.9%とそれぞれ最も高くなっている。

図5 輸入牛肉の主な流通経路別仕入量及び仕入量割合(部分肉ベース)
(全国)(平成20年度)

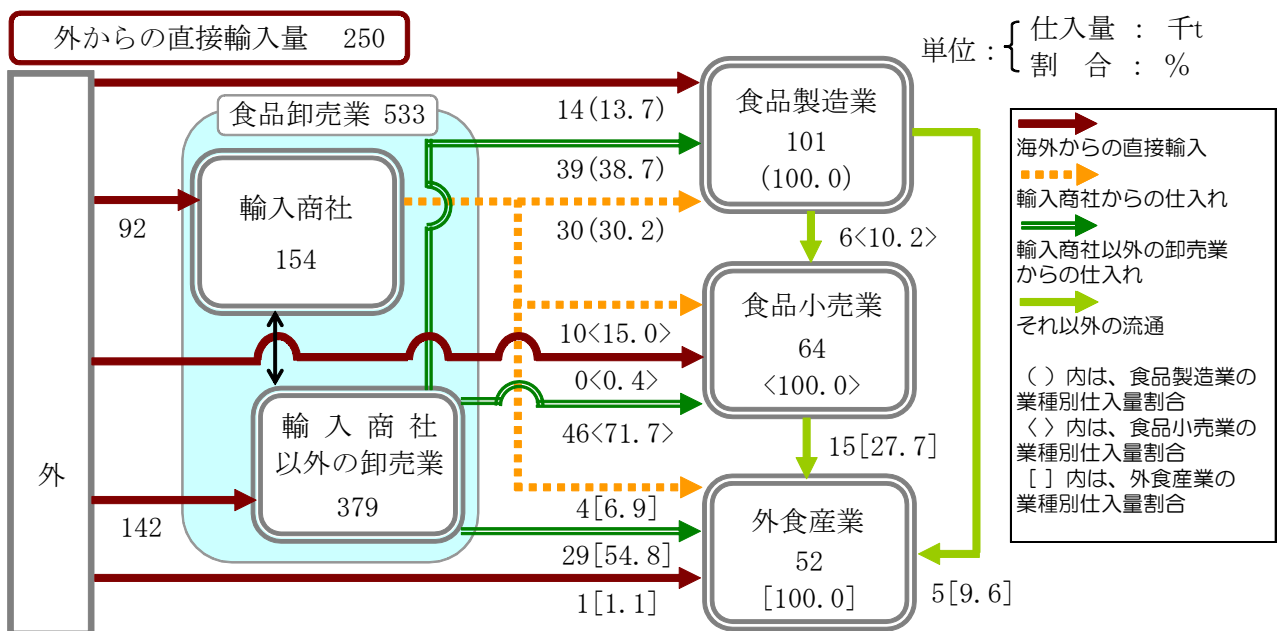


ウ 鶏肉

食品産業における輸入肉の外からの直接輸入量は25万tである。

また、各業種別に仕入先別仕入量割合をみると、食品製造業、食品小売業及び外食産業ともに輸入会社以外の卸売業からの仕入れが38.7%、71.7%、54.8%とそれぞれ最も高くなっている。

図6 輸入鶏肉の主な流通経路別仕入量及び仕入量割合(実量ベース)
(全国)(平成20年度)



(3) 食品製造業における畜産物の業種（小分類）別の仕入状況

ア 豚肉

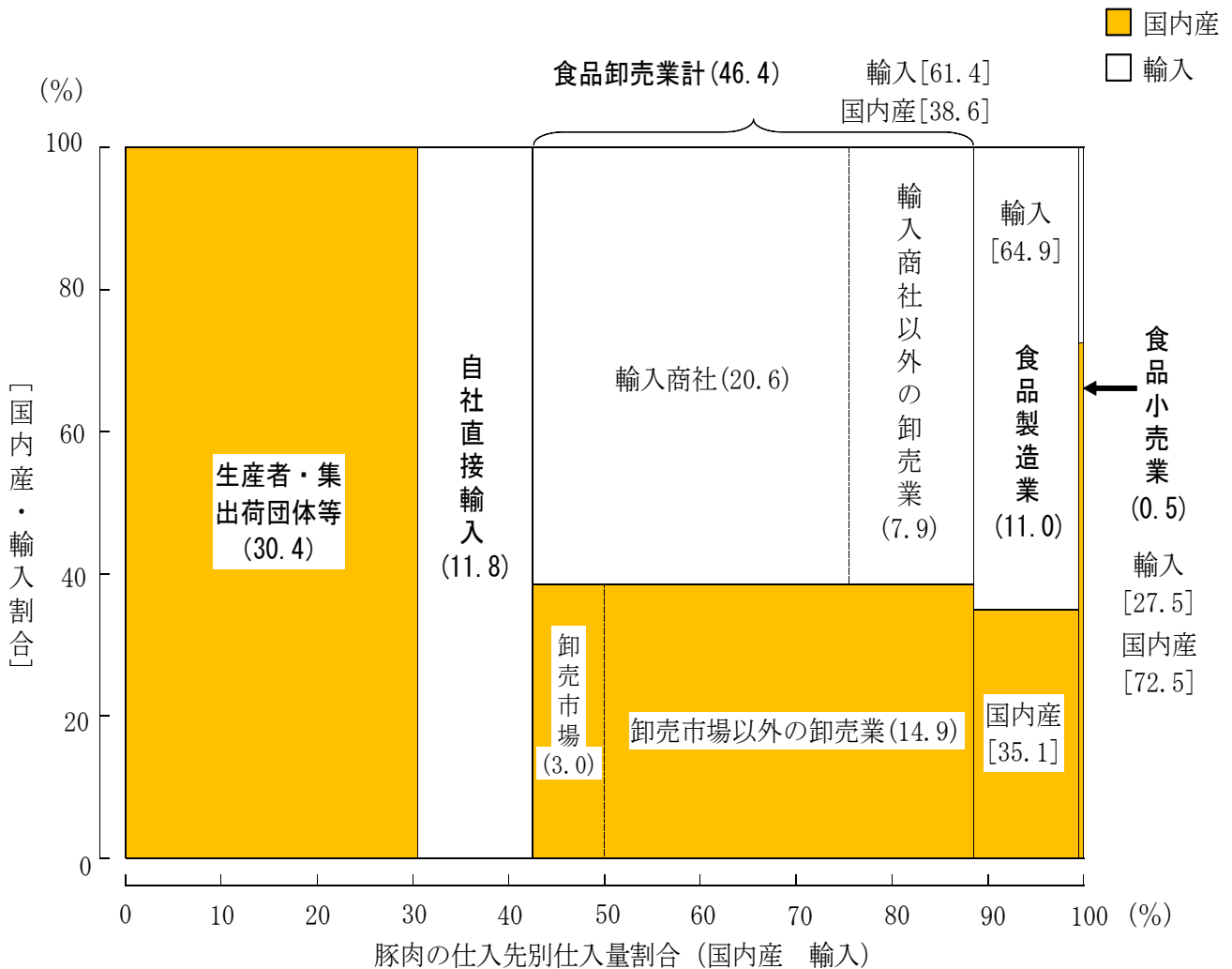
() 食品製造業における豚肉の仕入量は120万3千tで、国内産が63万1千t、輸入が57万2千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量の46.4%と最も高く、次いで、生産者・集出荷団体等からが30.4%を占めている。

また、各仕入先における国内産、輸入別の仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れでは国内産38.6%、輸入61.4%、食品製造業では国内産35.1%、輸入64.9%となっており、ともに輸入の仕入割合が高くなっている。

なお、輸入商社からの仕入れは20.6%と食品卸売業の中で、最も高くなっている。

図7 食品製造業における豚肉（国内産及び輸入）仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）



注：1 () 内は、品別（豚肉、牛肉、肉）の仕入量（国内産 輸入）を100%としたときの仕入先別仕入量割合である。
 2 [] 内は、各仕入先別仕入量に占める国内産 は輸入の仕入量割合である。
 3 図の値については、表示単位未満を四捨五入しているため、各仕入先の仕入量割合をみ上 た値が100%とならない場合がある。
 （注1～3とも、以下図18まで同じ。）

() 業種小 別にみると、産食料品製造業が食品製造業における豚肉の 仕入量の90.8%を占めている。

また、産食料品製造業の国内産、輸入別の仕入量割合をみると国内産54.1%、輸入45.9%となっており、国内産の割合が高くなっている。

表1 食品製造業における豚肉（国内産及び輸入）の業種（小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）

単位 { 仕入量：千t
割合：%

業 種 (小)	仕入量	仕 入 先 別 仕 入 量 (仕 入 量 割 合)										
		計	生産者・ 集出荷 団体等	自社直 接輸入	食 品 卸 売 業						食 品 製 造 業	食 品 小 売 業
					小 計	卸売市場	卸売市場 以外の 卸売業	輸入商社	輸入商社 以外の 卸売業			
食 品 製 造 業 計 (仕入量割合)	1 203 [100.0]	1 203 (100.0)	365 (30.4)	142 (11.8)	558 (46.4)	36 (3.0)	180 (14.9)	247 (20.6)	95 (7.9)	132 (11.0)	6 (0.5)	
国 内 産	631	52.5	100.0	-	38.6	100.0	100.0	-	-	35.1	72.5	
輸 入	572	47.5	-	100.0	61.4	-	-	100.0	100.0	64.9	27.5	
産食料品製造業 (仕入量割合)	1 092 [90.8]	1 092 (100.0)	361 (33.1)	138 (12.6)	483 (44.2)	33 (3.0)	158 (14.5)	225 (20.6)	67 (6.1)	108 (9.9)	1 (0.1)	
国 内 産	591	54.1	100.0	-	39.5	100.0	100.0	-	-	34.7	100.0	
輸 入	501	45.9	-	100.0	60.5	-	-	100.0	100.0	65.3	-	
そ の 他 の 製 造 業 (仕入量割合)	111 [9.2]	111 (100.0)	4 (3.5)	4 (3.5)	76 (68.0)	3 (2.9)	22 (19.6)	22 (19.8)	29 (25.7)	24 (21.3)	4 (3.8)	
国 内 産	40	36.3	100.0	-	33.1	100.0	100.0	-	-	37.3	63.4	
輸 入	71	63.7	-	100.0	66.9	-	-	100.0	100.0	62.7	36.6	

注：1 仕入量は同業種間を含 延べ仕入量である。

2 業種及び各業種小 における()内の割合は、各品 別（豚肉、牛肉、 肉）の 仕入量（国内産 輸入）を100%としたときの仕入先別仕入量割合である。

3 業種及び各業種小 における[]内の割合は、各品 別（豚肉、牛肉、 肉）の 仕入量（国内産 輸入）を100%としたときの業種小 別の仕入量割合である。

国内産・輸入の仕入量割合は、各仕入先別仕入量に占める国内産 は輸入の割合である。

表の値については、表示単位未満を四捨五入しているため、計と み上 の しないものがある。

(注1～ とも、以下表12まで同じ。)

イ 牛肉

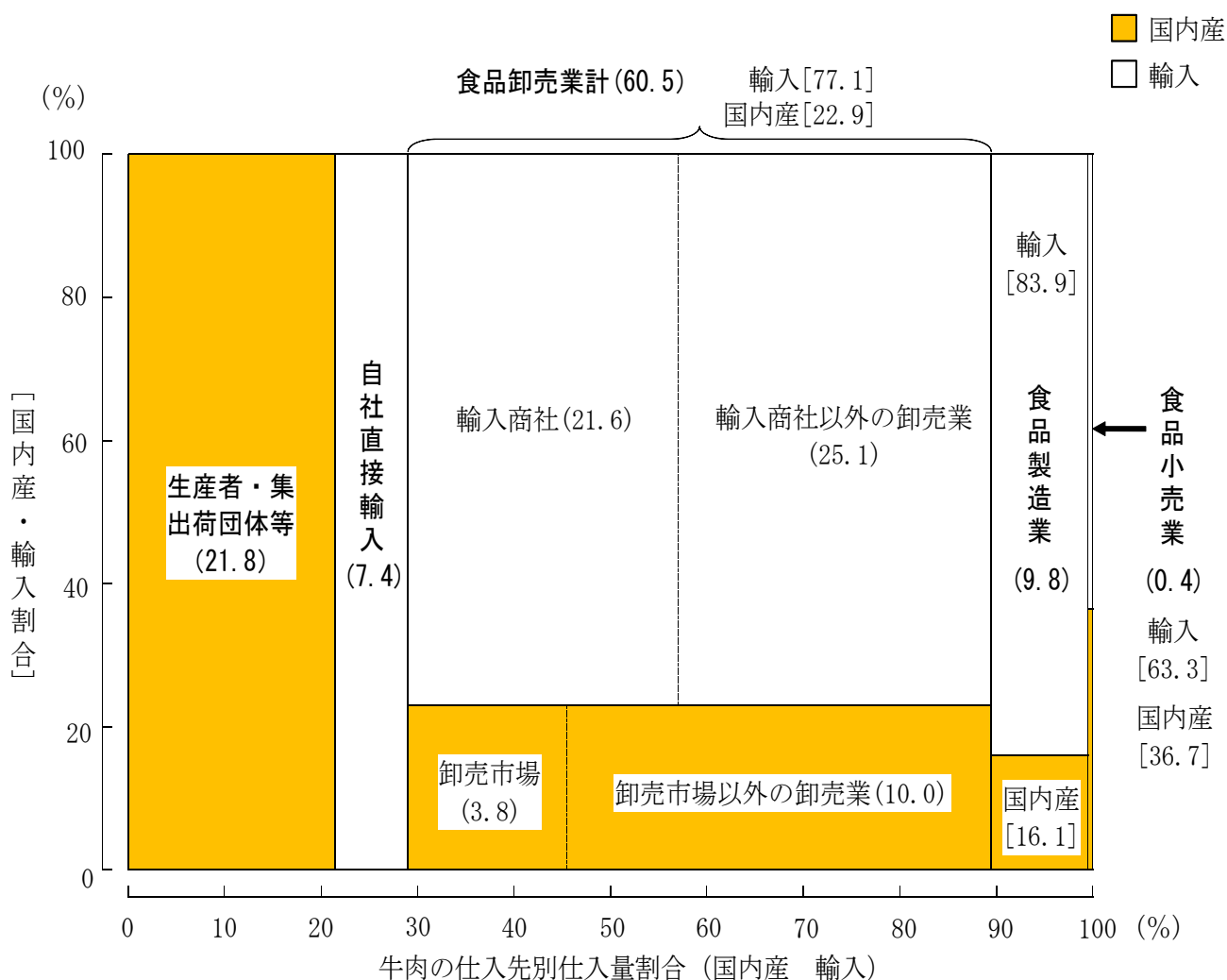
() 食品製造業における牛肉の 仕入量は35万2千tで、国内産が13万1千t、輸入が22万tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが 仕入量の60.5%と最も高く、次いで、生産者・集出荷団体等からが21.8%を占めている。

また、各仕入先における国内産、輸入別の仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れでは国内産22.9%、輸入77.1%、食品製造業では国内産16.1%、輸入83.9%となっており、ともに輸入の仕入割合が高くなっている。

なお、輸入商社以外の卸売業からの仕入れは25.1%と食品卸売業の中で、最も高くなっている。

図8 食品製造業における牛肉（国内産及び輸入）仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）



() 業種小 別にみると、産食料品製造業が食品製造業における牛肉の 仕入量の72.7%を占めている。

また、産食料品製造業の国内産、輸入別の仕入量割合をみると国内産46.7%、輸入53.3%となっており、輸入の仕入割合が高くなっている。

表2 食品製造業における牛肉（国内産及び輸入）の業種（小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）

業 種 (小)	仕入量	仕 入 先 別 仕 入 量 (仕 入 量 割 合)									
		計	生産者・ 集出荷 団体等	自社直 接輸入	食 品 卸 売 業					食 品 製 造 業	食 品 小 売 業
					小 計	卸売市場	卸売市場 以外の 卸売業	輸入商社	輸入商社 以外の 卸売業		
食 品 製 造 業 計 (仕入量割合)	352 [100.0]	352 (100.0)	77 (21.8)	26 (7.4)	213 (60.5)	13 (3.8)	35 (10.0)	76 (21.6)	88 (25.1)	35 (9.8)	1 (0.4)
国 内 産	131	37.4	100.0	-	22.9	100.0	100.0	-	-	16.1	36.7
輸 入	220	62.6	-	100.0	77.1	-	-	100.0	100.0	83.9	63.3
産食料品製造業 (仕入量割合)	255 [72.7]	255 (100.0)	72 (28.2)	25 (9.6)	147 (57.4)	13 (5.1)	32 (12.3)	60 (23.4)	42 (16.6)	12 (4.7)	0 (0.1)
国 内 産	119	46.7	100.0	-	30.3	100.0	100.0	-	-	22.1	99.7
輸 入	136	53.3	-	100.0	69.7	-	-	100.0	100.0	77.9	0.3
そ の 他 の 製 造 業 (仕入量割合)	96 [27.3]	96 (100.0)	4 (4.6)	2 (1.6)	66 (68.8)	1 (0.5)	4 (3.9)	16 (16.7)	46 (47.7)	23 (23.6)	1 (1.3)
国 内 産	12	12.5	100.0	-	6.4	100.0	100.0	-	-	13.0	27.0
輸 入	84	87.5	-	100.0	93.6	-	-	100.0	100.0	87.0	73.0

単位 { 仕入量 : 千t
割合 : %

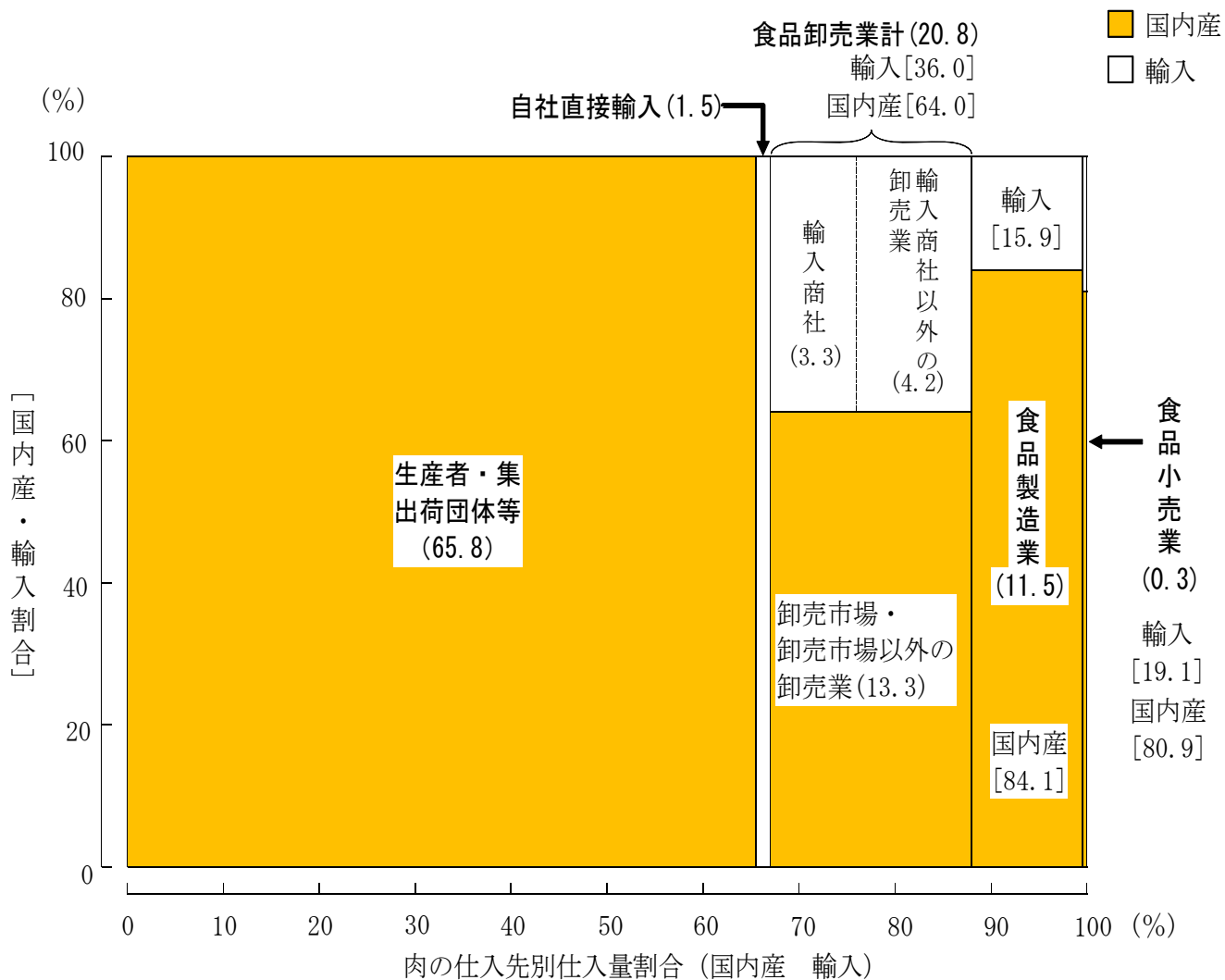
ウ 鶏肉

() 食品製造業における 肉の 仕入量は92万6千tで、国内産が82万 千t、輸入が10万1千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、生産者・集出荷団体等からの仕入れが 仕入量の65.8%と最も高く、次いで食品卸売業からが20.8%を占めている。

また、各仕入先における国内産、輸入別の仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れでは国内産64.0%、輸入36.0%、食品製造業では国内産84.1%、輸入15.9%となっており、ともに国内産の仕入割合が高くなっている。

図9 食品製造業における鶏肉（国内産及び輸入）仕入先別仕入量割合（実量ベース）（全国）（平成20年度）



() 業種小 別にみると、産食料品製造業が食品製造業における肉の仕入量の88.6%を占めている。

また、産食料品製造業の国内産、輸入別の仕入量割合をみると国内産92.6%、輸入7.4%となっており、国内産の割合が高くなっている。

表3 食品製造業における鶏肉（国内産及び輸入）の業種（小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合（実量ベース）（全国）（平成20年度）

単位 { 仕入量：千t
割合：%

業種(小)	仕入量	仕入先別仕入量(仕入量割合)								
		計	生産者・ 集出荷 団体等	自 社 直接輸入	食 品 卸 売 業			食 品 製 造 業	食 品 小 売 業	
					小 計	卸売市場・ 卸売市場以 外の卸売業	輸入商社			輸入商社 以外の 卸売業
食品製造業計 (仕入量割合)	926 [100.0]	926 (100.0)	609 (65.8)	14 (1.5)	193 (20.8)	123 (13.3)	30 (3.3)	39 (4.2)	107 (11.5)	3 (0.3)
国内産	825	89.1	100.0	-	64.0	100.0	-	-	84.1	80.9
輸 入	101	10.9	-	100.0	36.0	-	100.0	100.0	15.9	19.1
産食料品製造業 (仕入量割合)	821 [88.6]	821 (100.0)	588 (71.6)	11 (1.3)	142 (17.3)	99 (12.1)	16 (1.9)	27 (3.3)	79 (9.6)	1 (0.2)
国内産	760	92.6	100.0	-	69.7	100.0	-	-	91.0	99.6
輸 入	61	7.4	-	100.0	30.3	-	100.0	100.0	9.0	0.4
その他の製造業 (仕入量割合)	105 [11.4]	105 (100.0)	22 (20.6)	3 (2.8)	51 (48.3)	24 (23.2)	15 (14.0)	12 (11.1)	28 (26.4)	2 (1.8)
国内産	65	62.1	100.0	-	48.0	100.0	-	-	64.5	69.0
輸 入	40	37.9	-	100.0	52.0	-	100.0	100.0	35.5	31.0

(4) 食品卸売業における畜産物の仕入状況

ア 豚肉

食品卸売業における豚肉の仕入量は244万8千tで、国内産が125万6千t、輸入が119万3千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量の53.8%と最も高く、次いで自社直接輸入が22.3%を占めている。

また、各仕入先における国内産、輸入別の仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れでは国内産54.9%、輸入45.1%と国内産の割合が高く、食品製造業では国内産45.2%、輸入54.8%と輸入の仕入割合が高くなっている。

なお、卸売業以外の卸売業からの仕入れは24.3%と食品卸売業の中で、最も高くなっている。

図10 食品卸売業における豚肉（国内産及び輸入）仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）

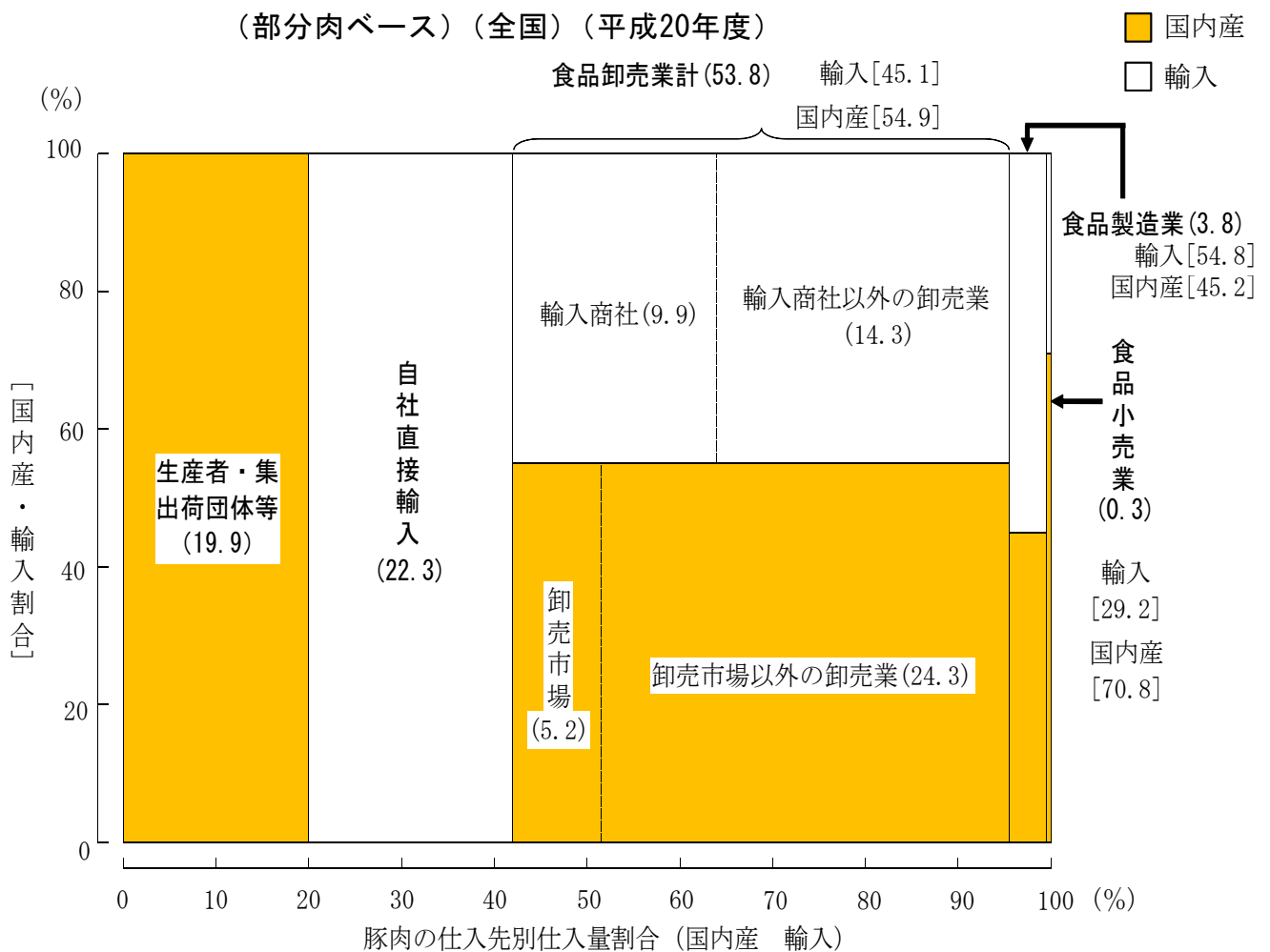


表4 食品卸売業における豚肉（国内産及び輸入）の業種別仕入量及び仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）

単位 { 仕入量 : 千t
割合 : %

業種	仕入量	仕入先別仕入量（仕入量割合）										
		計	生産者・集出荷団体等	自社直接輸入	食品卸売業						食品製造業	食品小売業
					小計	卸売市場	卸売市場以外の卸売業	輸入商社	輸入商社以外の卸売業			
食品卸売業計 （仕入量割合）	2 448 (100.0)	2 448 (100.0)	486 (19.9)	546 (22.3)	1 316 (53.8)	128 (5.2)	594 (24.3)	243 (9.9)	350 (14.3)	92 (3.8)	8 (0.3)	
国内産	1 256	51.3	100.0	-	54.9	100.0	100.0	-	-	45.2	70.8	
輸入	1 193	48.7	-	100.0	45.1	-	-	100.0	100.0	54.8	29.2	

イ 牛肉

食品卸売業における牛肉の仕入量は136万3千tで、国内産が65万 千t、輸入が70万8千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量の45.4%と最も高く、次いで自社直接輸入が31.8%を占めている。

また、各仕入先における国内産、輸入別の仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れでは国内産58.5%、輸入41.5%と国内産の割合が高く、食品製造業では国内産38.7%、輸入61.3%と輸入の仕入割合が高くなっている。

なお、卸売業以外の卸売業からの仕入れは16.5%と食品卸売業の中で、最も高くなっている。

図11 食品卸売業における牛肉（国内産及び輸入）仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）

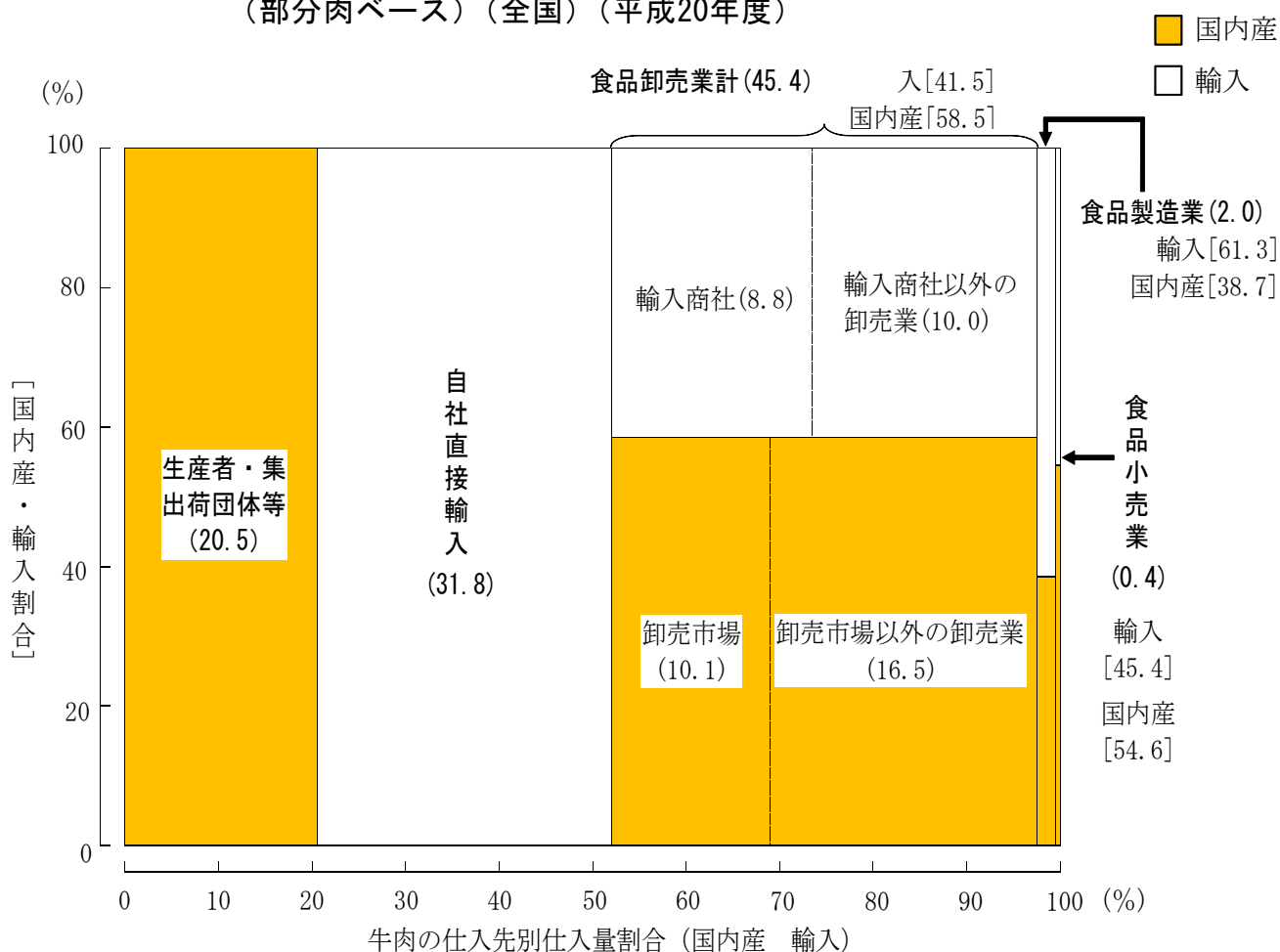


表5 食品卸売業における牛肉（国内産及び輸入）の業種別仕入量及び仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）

単位 { 仕入量 : 千t
割合 : %

業種	仕入量	仕入先別仕入量（仕入量割合）										
		計	生産者・集出荷団体等	自社直接輸入	食品卸売業						食品製造業	食品小売業
					小計	卸売市場	卸売市場以外の卸売業	輸入会社	輸入会社以外の卸売業			
食品卸売業計 （仕入量割合）	1 363 (100.0)	1 363 (100.0)	279 (20.5)	433 (31.8)	618 (45.4)	137 (10.1)	225 (16.5)	120 (8.8)	136 (10.0)	27 (2.0)	6 (0.4)	
国内産	655	48.0	100.0	-	58.5	100.0	100.0	-	-	38.7	54.6	
輸入	708	52.0	-	100.0	41.5	-	-	100.0	100.0	61.3	45.4	

ウ 鶏肉

食品卸売業における肉の仕入量は151万8千tで、国内産が98万 千t、輸入が53万 3千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量の43.4%と最も高く、次いで生産者・集出荷団体等からが39.6%を占めている。

また、各仕入先における国内産、輸入別の仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れでは国内産56.3%、輸入43.7%と国内産の仕入割合が高く、食品製造業では国内産47.0%、輸入53.0%と輸入の仕入割合が高くなっている。

図12 食品卸売業における鶏肉（国内産及び輸入）仕入先別仕入量割合（実量ベース）（全国）（平成20年度）

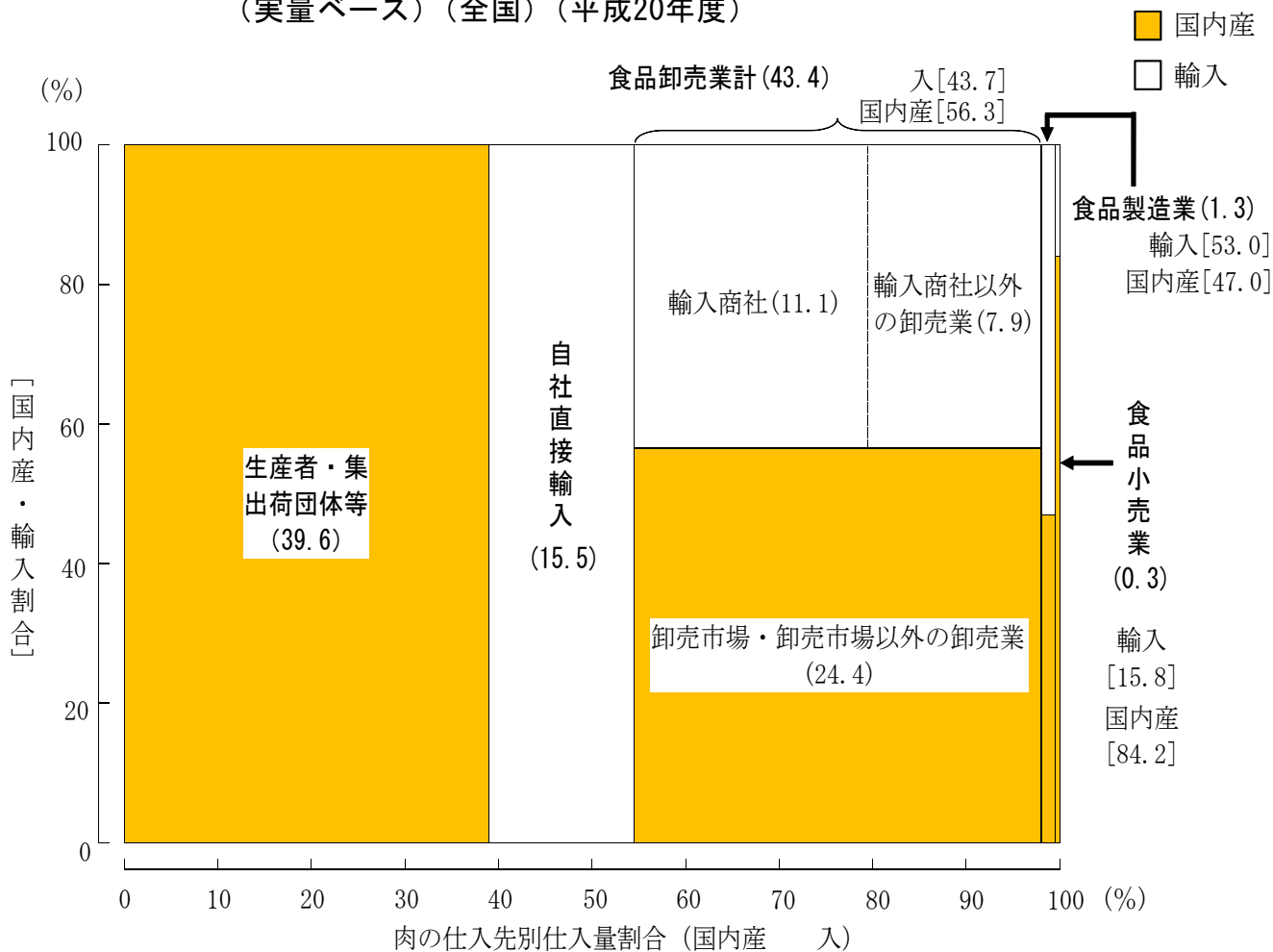


表6 食品卸売業における鶏肉（国内産及び輸入）の業種別仕入量及び仕入先別仕入量割合（実量ベース）（全国）（平成20年度）

業種	仕入量	仕入先別仕入量（仕入量割合）								
		計	生産者・集出荷団体等	自社直接輸入	食品卸売業			食品製造業	食品小売業	
					小計	卸売市場・卸売市場以外の卸売業	輸入商社			輸入商社以外の卸売業
食品卸売業計 （仕入量割合）	1 518 (100.0)	1 518 (100.0)	601 (39.6)	235 (15.5)	658 (43.4)	371 (24.4)	168 (11.1)	119 (7.9)	20 (1.3)	4 (0.3)
国内産	985	64.9	100.0	-	56.3	100.0	-	-	47.0	84.2
輸入	533	35.1	-	100.0	43.7	-	100.0	100.0	53.0	15.8

(5) 食品小売業における畜産物の業種(小分類)別の仕入状況

ア 豚肉

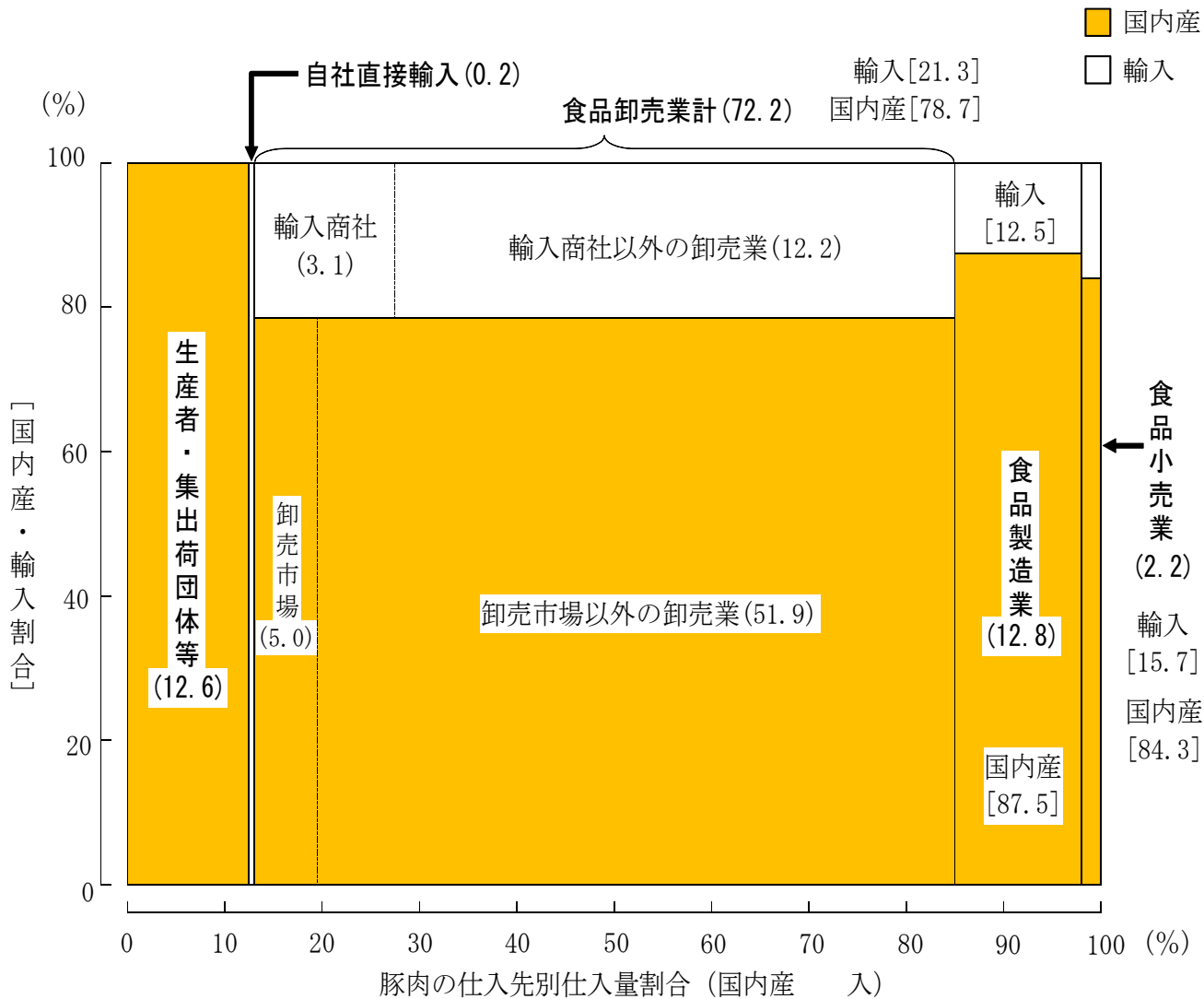
() 食品小売業における豚肉の仕入量は78万 千tで、国内産が64万 8千t、輸入が13万 千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量の72.2%と最も高く、次いで、食品製造業からが12.8%を占めている。

また、各仕入先における国内産、輸入別の仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れでは国内産78.7%、輸入21.3%、食品製造業では国内産87.5%、輸入12.5%となっており、ともに国内産の仕入割合が高くなっている。

なお、卸売市場以外の卸売業の仕入れは51.9%と食品卸売業の中で、最も高くなっている。

図13 食品小売業における豚肉（国内産及び輸入）仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）



() 業種小 別にみると、各種食料品小売業が食品小売業における豚肉の 仕入量の57.2%を占めている。

また、各種食料品小売業の国内産、輸入別の仕入量割合をみると、国内産82.7%、輸入17.3%となっており、国内産の割合が高くなっている。

表7 食品小売業における豚肉（国内産及び輸入）の業種（小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）

単位 { 仕入量：千t
割合：%

業 種 (小)	仕入量	仕 入 先 別 仕 入 量 (仕 入 量 割 合)									
		計	生産者・ 集出荷 団体等	自社直 接輸入	食 品 卸 売 業					食 品 製 造 業	食 品 小 売 業
					小 計	卸売市場	卸売市場 以外の 卸売業	輸入商社	輸入商社 以外の 卸売業		
食 品 小 売 業 計 (仕入量割合)	785 [100.0]	785 (100.0)	99 (12.6)	1 (0.2)	567 (72.2)	39 (5.0)	407 (51.9)	24 (3.1)	96 (12.2)	100 (12.8)	17 (2.2)
国 内 産	648	82.5	100.0	-	78.7	100.0	100.0	-	-	87.5	84.3
輸 入	137	17.5	-	100.0	21.3	-	-	100.0	100.0	12.5	15.7
・ 合 ー ス	105	105	14	0	63	1	42	12	8	24	4
(仕入量割合)	[13.4]	(100.0)	(13.5)	(0.3)	(59.6)	(1.2)	(39.9)	(11.4)	(7.2)	(23.1)	(3.5)
国 内 産	83	78.8	100.0	-	68.8	100.0	100.0	-	-	89.9	100.0
輸 入	22	21.2	-	100.0	31.2	-	-	100.0	100.0	10.1	-
各 種 食 料 品 小 売 業 (仕入量割合)	449 [57.2]	449 (100.0)	59 (13.2)	1 (0.2)	330 (73.6)	16 (3.7)	244 (54.4)	9 (2.0)	61 (13.5)	54 (12.0)	5 (1.0)
国 内 産	371	82.7	100.0	-	78.9	100.0	100.0	-	-	87.5	93.0
輸 入	78	17.3	-	100.0	21.1	-	-	100.0	100.0	12.5	7.0
そ の 他 の 小 売 業 (仕入量割合)	231 [29.5]	231 (100.0)	25 (11.0)	0 (0.0)	174 (75.3)	21 (9.2)	121 (52.5)	3 (1.4)	28 (12.1)	22 (9.7)	9 (4.0)
国 内 産	194	83.9	100.0	-	82.0	100.0	100.0	-	-	85.0	73.8
輸 入	37	16.1	-	100.0	18.0	-	-	100.0	100.0	15.0	26.2

イ 牛肉

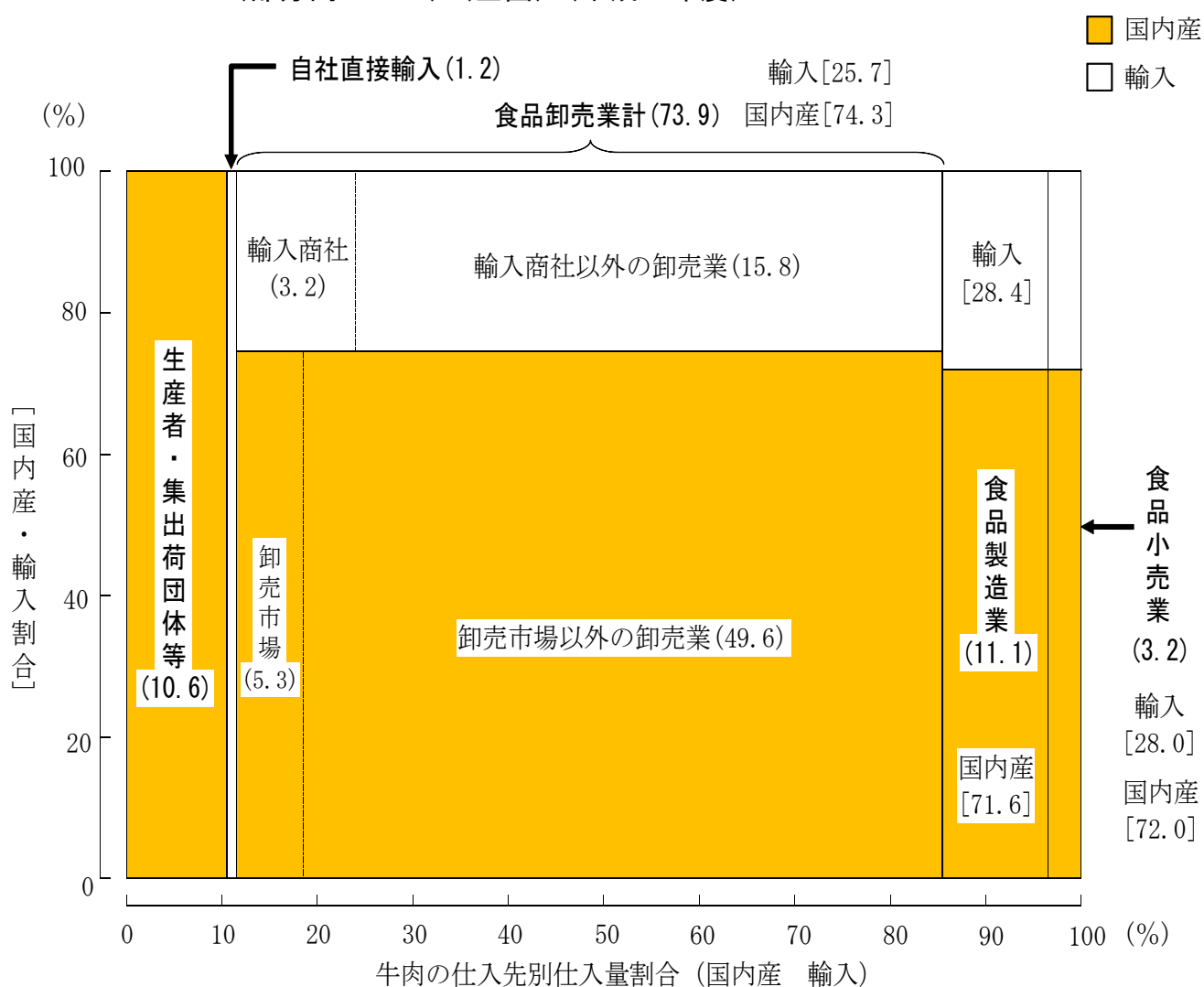
() 食品小売業における牛肉の仕入量は38万2千tで、国内産が28万 千t、輸入が 万2千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが仕入量の73.9%と最も高く、次いで食品製造業からが11.1%を占めている。

また、各仕入先における国内産、輸入別の仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れでは国内産74.3%、輸入25.7%、食品製造業では国内産71.6%、輸入28.4%となっており、ともに国内産の仕入割合が高くなっている。

なお、卸売市場以外の卸売業からの仕入れは49.6%と食品卸売業の中で最も高くなっている。

図14 食品小売業における牛肉（国内産及び輸入）仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）



() 業種小 別にみると、各種食料品小売業が食品小売業における牛肉の 仕入量の43.5%を占めている。

また、各種食料品小売業の国内産、輸入別の仕入量割合をみると、国内産73.9%、輸入26.1%となっており、国内産の割合が高くなっている。

表8 食品小売業における牛肉（国内産及び輸入）の業種（小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）

単位 { 仕入量：千t
割合：%

業 種 (小)	仕入量	仕 入 先 別 仕 入 量 (仕 入 量 割 合)									
		計	生産者・ 集出荷 団体等	自社直 接輸入	食 品 卸 売 業					食 品 製 造 業	食 品 小 売 業
					小 計	卸売市場	卸売市場 以外の 卸売業	輸入商社	輸入商社 以外の 卸売業		
食 品 小 売 業 計	382	382	40	4	282	20	189	12	60	43	12
(仕入量割合)	[100.0]	(100.0)	(10.6)	(1.2)	(73.9)	(5.3)	(49.6)	(3.2)	(15.8)	(11.1)	(3.2)
国 内 産	289	75.8	100.0	-	74.3	100.0	100.0	-	-	71.6	72.0
輸 入	92	24.2	-	100.0	25.7	-	-	100.0	100.0	28.4	28.0
・ 合 ー ス	71	71	5	3	40	1	30	5	4	18	5
(仕入量割合)	[18.6]	(100.0)	(6.6)	(4.2)	(56.9)	(1.7)	(41.6)	(7.3)	(6.3)	(25.7)	(6.6)
国 内 産	54	75.8	100.0	-	76.1	100.0	100.0	-	-	74.8	100.0
輸 入	17	24.2	-	100.0	23.9	-	-	100.0	100.0	25.2	-
各 種 食 料 品 小 売 業	166	166	15	1	128	2	91	3	33	20	2
(仕入量割合)	[43.5]	(100.0)	(8.8)	(0.7)	(77.3)	(0.9)	(54.6)	(2.0)	(19.8)	(11.9)	(1.3)
国 内 産	123	73.9	100.0	-	71.8	100.0	100.0	-	-	71.8	88.5
輸 入	43	26.1	-	100.0	28.2	-	-	100.0	100.0	28.2	11.5
そ の 他 の 小 売 業	145	145	21	0	113	17	69	4	23	5	5
(仕入量割合)	[37.9]	(100.0)	(14.6)	(0.2)	(78.2)	(12.0)	(47.8)	(2.4)	(16.0)	(3.2)	(3.8)
国 内 産	112	77.8	100.0	-	76.5	100.0	100.0	-	-	58.5	41.5
輸 入	32	22.2	-	100.0	23.5	-	-	100.0	100.0	41.5	58.5

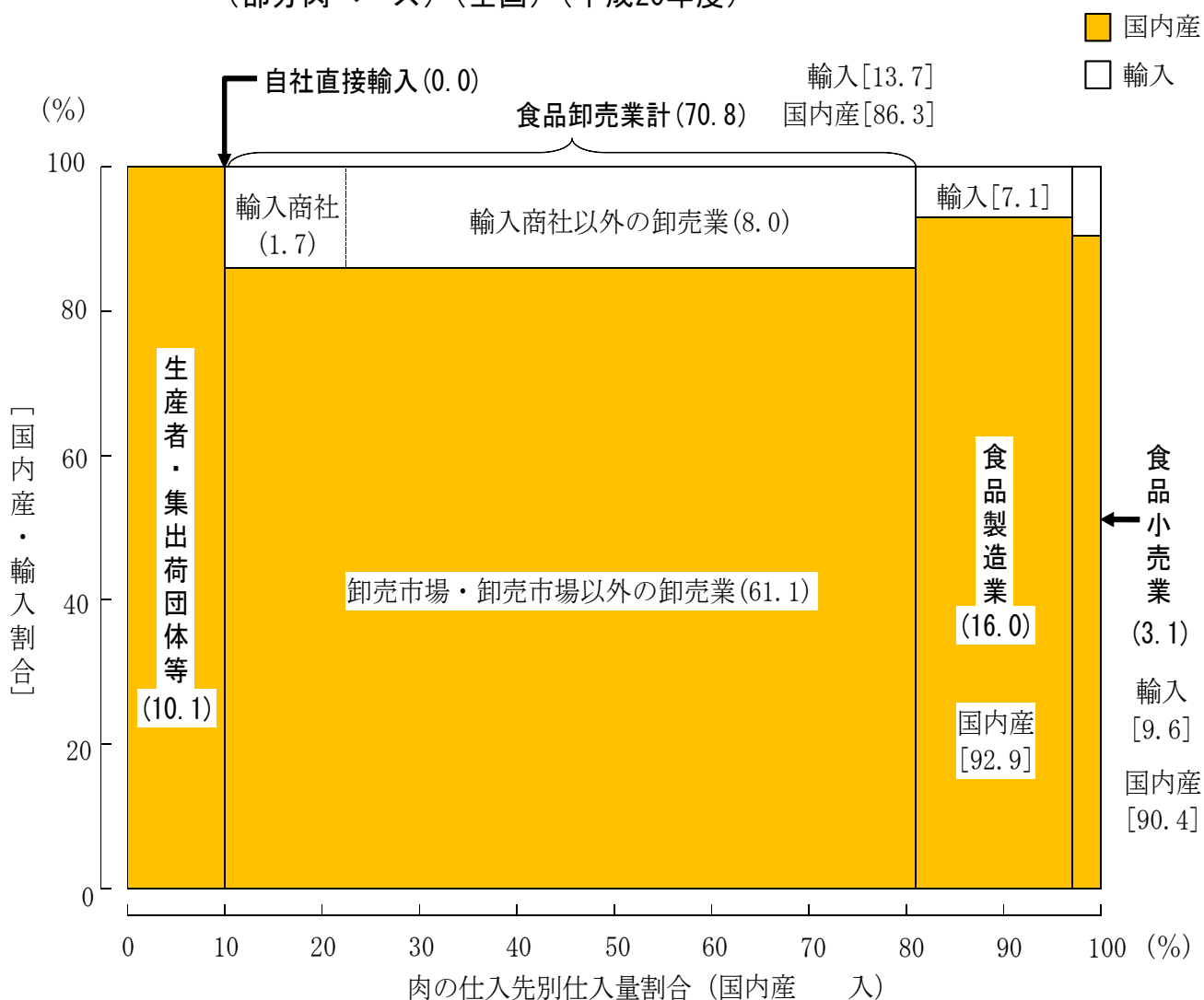
ウ 鶏肉

() 食品小売業における 肉の 仕入量は57万tで、国内産が50万6千t、輸入が6万 千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが 仕入量の70.8%と最も高く、次いで食品製造業からの仕入れが16.0%を占めている。

また、各仕入先における国内産、輸入別の仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れでは国内産86.3%、輸入13.7%、食品製造業では国内産92.9%、輸入7.1%となっており、ともに国内産の仕入割合が高くなっている。

図15 食品小売業における鶏肉（国内産及び輸入）仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）



() 業種小 別にみると、各種食料品小売業が食品小売業における 肉の 仕入量の54.0%を占めている。

また、各種食料品小売業の国内産、輸入別の仕入量割合をみると、国内産89.6%、輸入10.4%となっており、国内産の割合が高くなっている。

表9 食品小売業における鶏肉（国内産及び輸入）の業種（小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合（実量ベース）（全国）（平成20年度）

単位 { 仕入量：千t
割合：%

業 種 (小)	仕入量	仕 入 先 別 仕 入 量 (仕 入 量 割 合)								
		計	生産者・ 集出荷 団体等	自 社 直接輸入	食 品 卸 売 業			食 品 製造業	食 品 小売業	
					小 計	卸売市場・ 卸売市場以 外の卸売業	輸入商社 以外の 卸売業			
食 品 小 売 業 計	570	570	57	0	403	348	10	46	91	18
(仕入量割合)	[100.0]	(100.0)	(10.1)	(0.0)	(70.8)	(61.1)	(1.7)	(8.0)	(16.0)	(3.1)
国 内 産	506	88.8	100.0	-	86.3	100.0	-	-	92.9	90.4
輸 入	64	11.2	-	100.0	13.7	-	100.0	100.0	7.1	9.6
・ 合 ス ー	84	84	11	0	50	47	1	2	21	2
(仕入量割合)	[14.7]	(100.0)	(13.4)	(0.1)	(59.1)	(55.6)	(1.7)	(1.8)	(24.8)	(2.6)
国 内 産	80	95.2	100.0	-	94.0	100.0	-	-	95.2	100.0
輸 入	4	4.8	-	100.0	6.0	-	100.0	100.0	4.8	-
各 種 食 料 品 小 売 業	308	308	35	-	225	195	6	24	43	5
(仕入量割合)	[54.0]	(100.0)	(11.2)	(-)	(73.2)	(63.5)	(1.8)	(7.9)	(13.9)	(1.6)
国 内 産	276	89.6	100.0	-	86.7	100.0	-	-	96.1	94.9
輸 入	32	10.4	-	-	13.3	-	100.0	100.0	3.9	5.1
そ の 他 の 小 売 業	178	178	12	0	128	106	2	20	28	11
(仕入量割合)	[31.3]	(100.0)	(6.5)	(0.1)	(72.0)	(59.5)	(1.4)	(11.0)	(15.4)	(6.0)
国 内 産	151	84.5	100.0	-	82.7	100.0	-	-	86.1	86.3
輸 入	28	15.5	-	100.0	17.3	-	100.0	100.0	13.9	13.7

(6) 外食産業における畜産物の業種(小分類)別の仕入状況

ア 豚肉

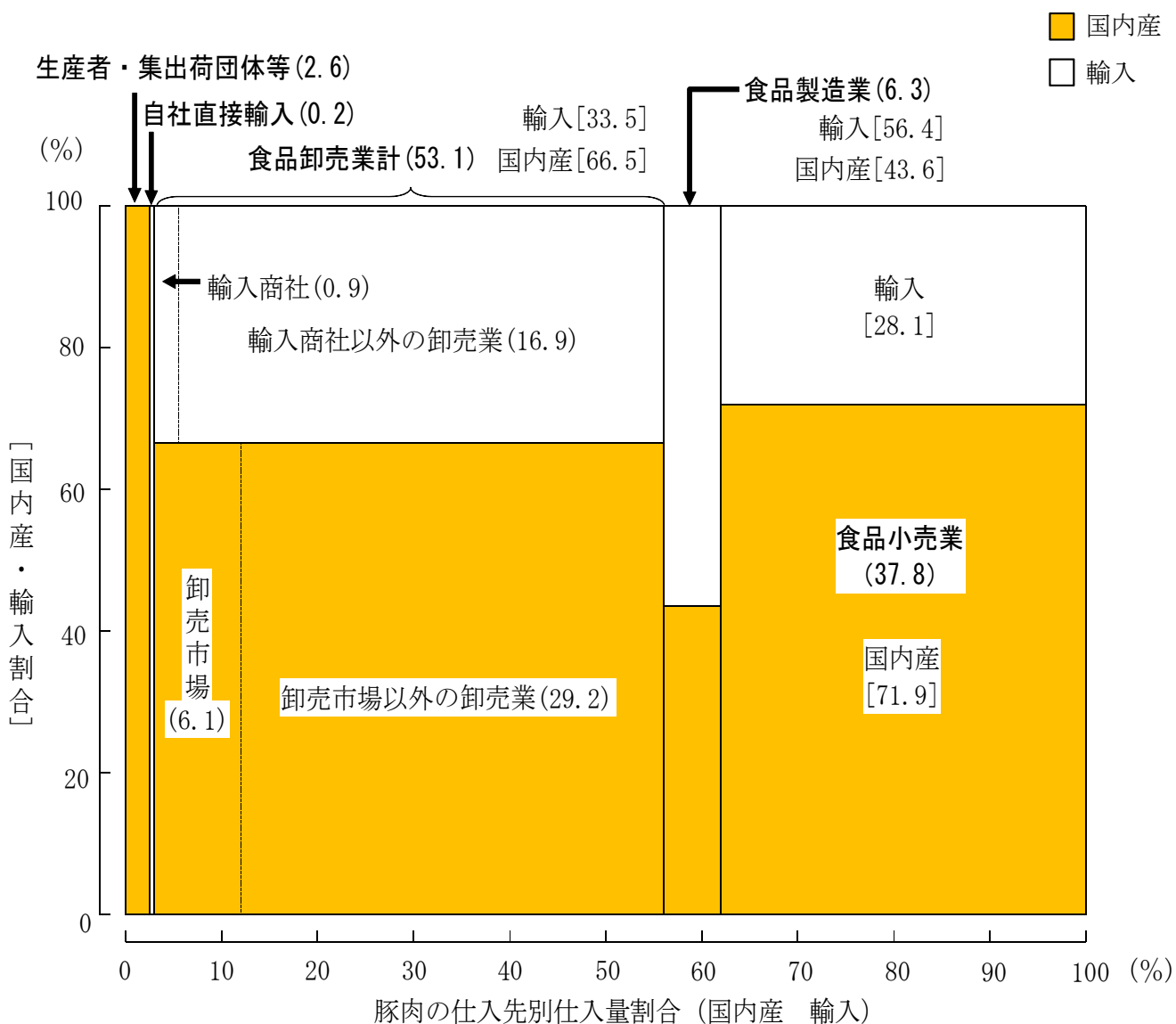
() 外食産業における豚肉の 仕入量は24万1千tで、国内産が16万3千t、輸入が万 千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが 仕入量の53.1%と最も高く、次いで食品小売業からが37.8%を占めている。

また、各仕入先における国内産、輸入別の仕入割合をみると、食品卸売業からの仕入れでは国内産66.5%、輸入33.5%、食品小売業では国内産71.9%、輸入28.1%となっており、ともに国内産の仕入割合が高くなっている。

なお、卸売市場以外の卸売業が29.2%と食品卸売業の中で最も高くなっている。

図16 外食産業における豚肉（国内産及び輸入）仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）



() 業種小 別にみると、中 料 ・その他の食 、レストランが外食産業における豚肉の 仕入量の39.5%を占めている。

また、中 料 ・その他の食 、レストランの国内産、輸入別の仕入量割合をみると、国内産74.5%、輸入25.5%となっており、国内産割合が高くなっている。

表10 外食産業における豚肉（国内産及び輸入）の業種（小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）

単位 { 仕入量：千t
割合：%

業 種 (小)	仕入量	仕 入 先 別 仕 入 量 (仕 入 量 割 合)										
		計	生産者・ 集出荷 団体等	自 社 直接輸入	食 品 卸 売 業						食 品 製造業	食 品 小売業
					小 計	卸売市場	卸売市場 以外の 卸売業	輸入商社	輸入商社 以外の 卸売業			
外 食 産 業 計	241	241	6	1	128	15	70	2	41	15	91	
(仕入量割合)	[100.0]	(100.0)	(2.6)	(0.2)	(53.1)	(6.1)	(29.2)	(0.9)	(16.9)	(6.3)	(37.8)	
国 内 産	163	67.8	100.0	-	66.5	100.0	100.0	-	-	43.6	71.9	
輸 入	77	32.2	-	100.0	33.5	-	-	100.0	100.0	56.4	28.1	
飲 食	64	64	2	-	30	2	18	1	9	6	27	
(仕入量割合)	[26.7]	(100.0)	(2.4)	(-)	(46.3)	(3.1)	(27.7)	(1.3)	(14.2)	(8.9)	(42.4)	
国 内 産	42	65.7	100.0	-	66.6	100.0	100.0	-	-	51.8	65.7	
輸 入	22	34.3	-	-	33.4	-	-	100.0	100.0	48.2	34.3	
中 料 ・その他 の食 、レストラン	95	95	3	0	59	8	35	1	16	3	29	
(仕入量割合)	[39.5]	(100.0)	(3.5)	(0.3)	(62.4)	(8.5)	(36.4)	(1.1)	(16.5)	(3.0)	(30.8)	
国 内 産	71	74.5	100.0	-	71.8	100.0	100.0	-	-	22.8	82.5	
輸 入	24	25.5	-	100.0	28.2	-	-	100.0	100.0	77.2	17.5	
その他の外食産業	81	81	1	0	39	5	18	0	16	6	35	
(仕入量割合)	[33.8]	(100.0)	(1.6)	(0.3)	(47.6)	(5.7)	(22.1)	(0.4)	(19.5)	(7.9)	(42.5)	
国 内 産	50	61.7	100.0	-	58.2	100.0	100.0	-	-	45.5	67.7	
輸 入	31	38.3	-	100.0	41.8	-	-	100.0	100.0	54.5	32.3	

イ 牛肉

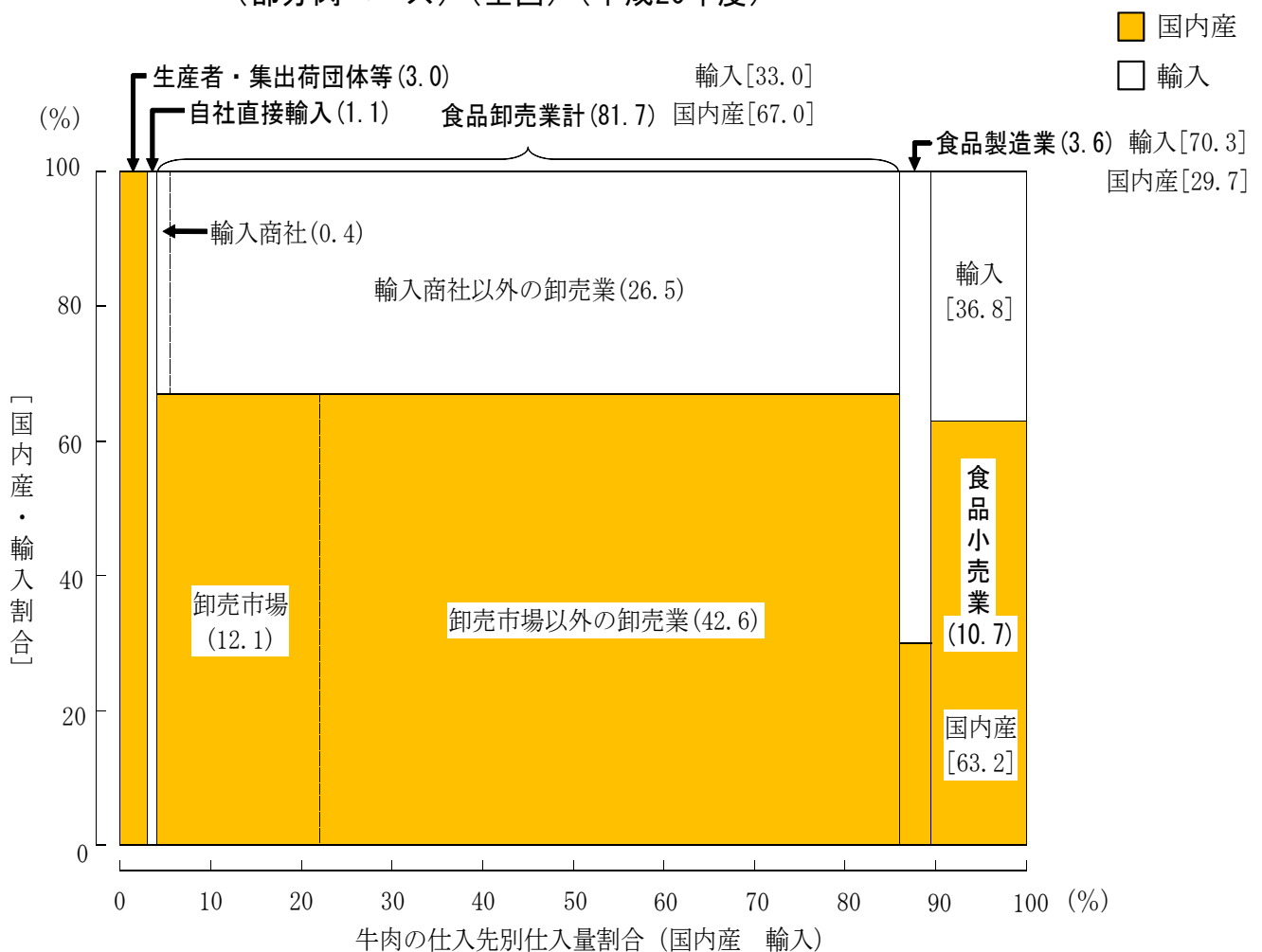
() 外食産業における豚肉の 仕入量は17万 千tで、国内産が11万 千t、輸入が6万2千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが 仕入量の81.7%と最も高く、次いで食品小売業からが10.7%を占めている。

また、各仕入先における国内産、輸入別の仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れでは国内産67.0%、輸入33.0%、食品小売業では国内産63.2%、輸入36.8%となっており、ともに国内産の仕入割合が高くなっている。

なお、卸売市場以外の卸売業が42.6%と食品卸売業の中で最も高くなっている。

図17 外食産業における牛肉（国内産及び輸入）仕入先別仕入量割合
（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）



() 業種小 別にみると、その他の外食産業が外食産業における豚肉の 仕入量の82.5%を占めている。

また、その他の外食産業の国内産、輸入別の仕入量割合をみると、国内産65.8%、輸入34.2%となっており、国内産の割合が高くなっている。

表11 外食産業における牛肉（国内産及び輸入）の業種（小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合（部分肉ベース）（全国）（平成20年度）

単位 { 仕入量：千t
割合：%

業 種 (小)	仕入量	仕入先別仕入量（仕入量割合）									
		計	生産者・ 集出荷 団体等	自 社 直接輸入	食 品 卸 売 業					食 品 製造業	食 品 小売業
					小 計	卸売市場	卸売市場 以外の 卸売業	輸入商社	輸入商社 以外の 卸売業		
外 食 産 業 計	179	179	5	2	146	22	76	1	47	6	19
(仕入量割合)	[100.0]	(100.0)	(3.0)	(1.1)	(81.7)	(12.1)	(42.6)	(0.4)	(26.5)	(3.6)	(10.7)
国 内 産	117	65.5	100.0	-	67.0	100.0	100.0	-	-	29.7	63.2
輸 入	62	34.5	-	100.0	33.0	-	-	100.0	100.0	70.3	36.8
飲 食	26	26	1	-	14	6	4	0	4	1	11
(仕入量割合)	[14.7]	(100.0)	(2.2)	(-)	(54.7)	(23.6)	(15.1)	(0.5)	(15.5)	(2.8)	(40.4)
国 内 産	17	64.6	100.0	-	70.8	100.0	100.0	-	-	21.2	57.3
輸 入	9	35.4	-	-	29.2	-	-	100.0	100.0	78.8	42.7
中 料 ・ その の 食 、 レストラン	5	5	0	-	4	0	2	0	1	0	1
(仕入量割合)	[2.8]	(100.0)	(1.1)	(-)	(81.6)	(3.5)	(48.7)	(0.5)	(28.9)	(1.2)	(16.1)
国 内 産	3	60.3	100.0	-	64.0	100.0	100.0	-	-	43.1	40.4
輸 入	2	39.7	-	-	36.0	-	-	100.0	100.0	56.9	59.6
そ の 他 の 外 食 産 業	148	148	5	2	128	15	70	1	42	6	8
(仕入量割合)	[82.5]	(100.0)	(3.2)	(1.4)	(86.5)	(10.3)	(47.3)	(0.4)	(28.4)	(3.8)	(5.2)
国 内 産	97	65.8	100.0	-	66.6	100.0	100.0	-	-	30.6	73.7
輸 入	50	34.2	-	100.0	33.4	-	-	100.0	100.0	69.4	26.3

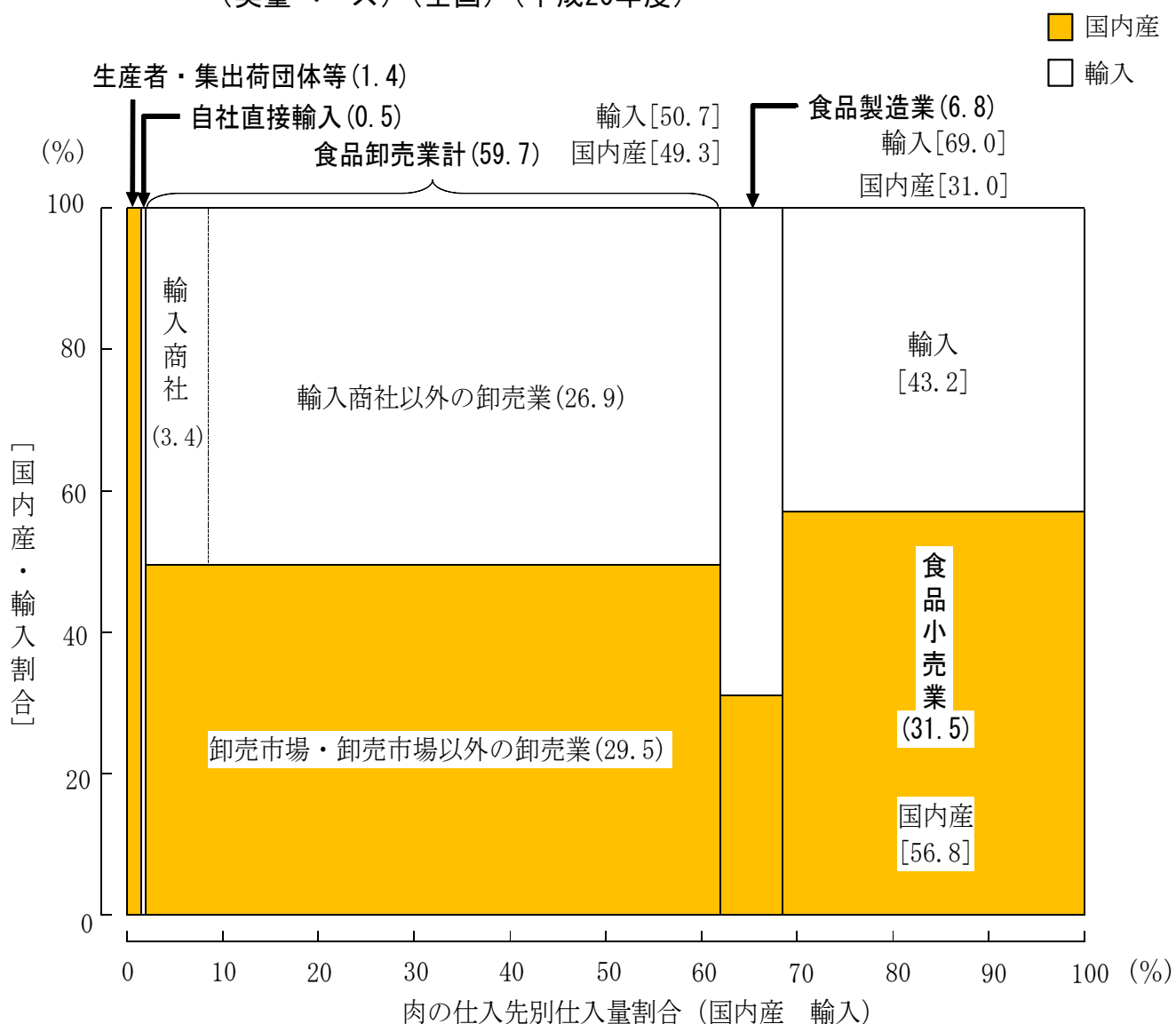
ウ 鶏肉

() 外食産業における 肉の 仕入量は10万 千tで、国内産が 万 千t、輸入が 万2千tとなっている。

仕入先別仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れが 仕入量の59.7%と最も高く、次いで食品小売業からの仕入れが31.5%を占めている。

また、各仕入先における国内産、輸入別の仕入量割合をみると、食品卸売業からの仕入れでは国内産49.3%、輸入50.7%と輸入の割合が高く、食品小売業では国内産56.8%、輸入43.2%と国内産の仕入割合が高くなっている。

図18 外食産業における鶏肉（国内産及び輸入）仕入先別仕入量割合
（実量ベース）（全国）（平成20年度）



() 業種小 別にみると、 飲食 が外食産業における 肉の 仕入量の41.4 %を占めている。

また、 飲食 の国内産、輸入別の仕入量割合をみると、国内産50.1%、輸入49.9%となっており、国内産割合が高くなっている。

表12 外食産業における鶏肉（国内産及び輸入）の業種（小分類）別仕入量及び仕入先別仕入量割合（実量ベース）（全国）（平成20年度）

単位 { 仕入量：千t
割合：%

業 種 (小)	仕入量	仕 入 先 別 仕 入 量 (仕 入 量 割 合)								
		計	生産者・ 集出荷 団体等	自 社 直接輸入	食 品 卸 売 業				食 品 製造業	食 品 小売業
					小 計	卸売市場・ 卸売市場以 外の卸売業	輸入商社	輸入商社 以外の 卸売業		
外 食 産 業 計 (仕 入 量 割 合)	107 [100.0]	107 (100.0)	1 (1.4)	1 (0.5)	64 (59.7)	31 (29.5)	4 (3.4)	29 (26.9)	7 (6.8)	34 (31.5)
国 内 産	54	50.9	100.0	-	49.3	100.0	-	-	31.0	56.8
輸 入	52	49.1	-	100.0	50.7	-	100.0	100.0	69.0	43.2
飲 食 (仕 入 量 割 合)	44 [41.4]	44 (100.0)	1 (1.3)	- (-)	24 (54.6)	12 (27.2)	1 (2.9)	11 (24.5)	3 (6.9)	16 (37.1)
国 内 産	22	50.1	100.0	-	49.7	100.0	-	-	38.0	51.0
輸 入	22	49.9	-	-	50.3	-	100.0	100.0	62.0	49.0
中 料 ・ そ の 他 の 食 ・ レ ス ト ラ ン (仕 入 量 割 合)	26 [24.6]	26 (100.0)	1 (1.9)	- (-)	14 (53.8)	9 (32.5)	1 (2.1)	5 (19.3)	3 (12.4)	8 (31.9)
国 内 産	15	58.0	100.0	-	60.4	100.0	-	-	11.9	69.5
輸 入	11	42.0	-	-	39.6	-	100.0	100.0	88.1	30.5
そ の 他 の 外 食 産 業 (仕 入 量 割 合)	36 [33.9]	36 (100.0)	0 (1.0)	1 (1.5)	25 (70.3)	11 (30.1)	2 (4.9)	13 (35.4)	1 (2.7)	9 (24.5)
国 内 産	17	46.6	100.0	-	42.8	100.0	-	-	72.4	55.4
輸 入	19	53.4	-	100.0	57.2	-	100.0	100.0	27.6	44.6

(7) 畜産物の業種別の1事業所当たりの平均仕入量及び仕入先別平均仕入量

ア 国内産豚肉

業種別の1事業所当たりの仕入れ規模を平均仕入量で見ると、食品製造業が192.6tと最も大きく、次いで食品卸売業が172.2tとなっている。

仕入先別の仕入れ規模を平均仕入量で見ると、全ての業種において、生産者・集出荷団体等からの仕入れが最も大きくなっている。

表13 国内産豚肉の業種別の1事業所当たりの平均仕入量及び仕入先別平均仕入量
(部分肉ベース)(全国)(平成20年度)

単位：t

業種	平均仕入量	仕入先別平均仕入量				
		生産者・集出荷団体等	食品卸売業		食品製造業	食品小売業
			卸売市場	卸売市場以外の卸売業		
食品製造業	192.6	626.0	118.4	95.5	89.0	6.2
食品卸売業	172.2	363.6	77.9	103.8	107.9	16.2
食品小売業	11.3	15.2	5.5	11.5	12.0	1.8
外食産業	0.8	1.1	0.8	0.9	0.8	0.6

注：平均仕入量は、業種別仕入量、業種別事業所数の表章単位未満の原数値を用いて算出している（以下表18まで同じ。）。

イ 国内産牛肉

業種別の1事業所当たりの仕入れ規模を平均仕入量で見ると、食品卸売業が96.1tと最も大きく、次いで食品製造業が69.7tとなっている。

仕入先別の仕入れ規模を平均仕入量で見ると、全ての業種において、生産者・集出荷団体等からの仕入れが最も大きくなっている。

表14 国内産牛肉の業種別の1事業所当たりの平均仕入量及び仕入先別平均仕入量
(部分肉ベース)(全国)(平成20年度)

単位：t

業種	平均仕入量	仕入先別平均仕入量				
		生産者・集出荷団体等	食品卸売業		食品製造業	食品小売業
			卸売市場	卸売市場以外の卸売業		
食品製造業	69.7	263.6	53.1	29.0	20.8	1.6
食品卸売業	96.1	277.9	87.4	41.6	33.3	12.2
食品小売業	6.4	8.2	3.4	6.5	5.5	1.6
外食産業	1.0	1.2	1.8	1.6	0.4	0.2

ウ 国内産鶏肉

業種別の1事業所当たりの仕入れ規模を平均仕入量で見ると、食品製造業が240.1tと最も大きく、次いで食品卸売業が129.7tとなっている。

仕入先別の仕入れ規模を平均仕入量で見ると、外食産業を除く全ての業種において、生産者・集出荷団体等からの仕入れが最も大きく、外食産業では食品卸売業からの仕入れが最も大きくなっている。

表15 国内産鶏肉の業種別の1事業所当たりの平均仕入量及び仕入先別平均仕入量
(実量ベース) (全国) (平成20年度)

業 種	平均仕入量	仕 入 先 別 平 均 仕 入 量			
		生産者・ 集 出 荷 団 体 等	食品卸売業	食品製造業	食品小売業
食 品 製 造 業	240.1	919.4	60.4	149.5	4.7
食 品 卸 売 業	129.7	471.9	56.4	27.0	10.0
食 品 小 売 業	9.3	12.5	9.0	11.5	2.1
外 食 産 業	0.4	0.3	0.5	0.3	0.2

エ 輸入豚肉

業種別の1事業所当たりの仕入れ規模を平均仕入量で見ると、食品製造業が247.0tと最も大きく、次いで食品卸売業が208.7tとなっている。

仕入先別の仕入れ規模を平均仕入量で見ると、食品製造業、食品卸売業では、自社直接輸入の仕入れが最も大きく、食品小売業では輸入商社、外食産業では輸入商社以外の卸売業及び食品製造業からの仕入れが最も大きくなっている。

表16 輸入豚肉の業種別の1事業所当たりの平均仕入量及び仕入先別平均仕入量
(部分肉ベース) (全国) (平成20年度)

業 種	平均仕入量	仕 入 先 別 平 均 仕 入 量				
		自 社 直 接 輸 入	食 品 卸 売 業		食 品 製 造 業	食 品 小 売 業
			輸 入 商 社	輸 入 商 社 以 外 の 卸 売 業		
食 品 製 造 業	247.0	1 893.1	625.5	62.5	188.0	5.1
食 品 卸 売 業	208.7	1 949.2	266.1	71.8	125.5	10.9
食 品 小 売 業	5.6	4.9	7.5	5.6	2.8	1.8
外 食 産 業	0.9	0.9	0.6	1.0	1.0	0.6

オ 輸入牛肉

業種別の1事業所当たりの仕入れ規模を平均仕入量で見ると、食品卸売業が119.3tと最も大きく、次いで食品製造業が108.3tとなっている。

仕入先別の仕入れ規模を平均仕入量で見ると、全ての業種において、自社直接輸入の仕入れが最も大きくなっている。

表17 輸入牛肉の業種別の1事業所当たりの平均仕入量及び仕入先別平均仕入量
(部分肉ベース)(全国)(平成20年度)

単位：t

業 種	平均仕入量	仕 入 先 別 平 均 仕 入 量				
		自 社 直 接 輸 入	食 品 卸 売 業		食 品 製 造 業	食 品 小 売 業
			輸 入 商 社	輸 入 商 社 以 外 の 卸 売 業		
食 品 製 造 業	108.3	380.7	231.6	66.5	69.9	4.8
食 品 卸 売 業	119.3	1 307.5	139.5	27.1	47.9	13.7
食 品 小 売 業	3.5	7.2	3.8	3.2	2.8	1.9
外 食 産 業	0.9	2.2	0.2	1.3	0.7	0.2

カ 輸入鶏肉

業種別の1事業所当たりの仕入れ規模を平均仕入量で見ると、食品卸売業が89.6tと最も大きく、次いで食品製造業が42.0tとなっている。

仕入先別の仕入れ規模を平均仕入量で見ると、食品製造業、食品卸売業では、自社直接輸入の仕入れが最も大きく、食品小売業では輸入商社、外食産業では食品製造業からの仕入れが最も大きくなっている。

表18 輸入鶏肉の業種別の1事業所当たりの平均仕入量及び仕入先別平均仕入量
(実量ベース)(全国)(平成20年度)

単位：t

業 種	平均仕入量	仕 入 先 別 平 均 仕 入 量				
		自 社 直 接 輸 入	食 品 卸 売 業		食 品 製 造 業	食 品 小 売 業
			輸 入 商 社	輸 入 商 社 以 外 の 卸 売 業		
食 品 製 造 業	42.0	214.6	72.3	25.9	36.9	2.0
食 品 卸 売 業	89.6	715.5	154.3	23.8	47.3	4.0
食 品 小 売 業	3.0	0.8	3.2	3.0	2.2	0.9
外 食 産 業	0.7	0.8	0.9	0.8	1.2	0.4

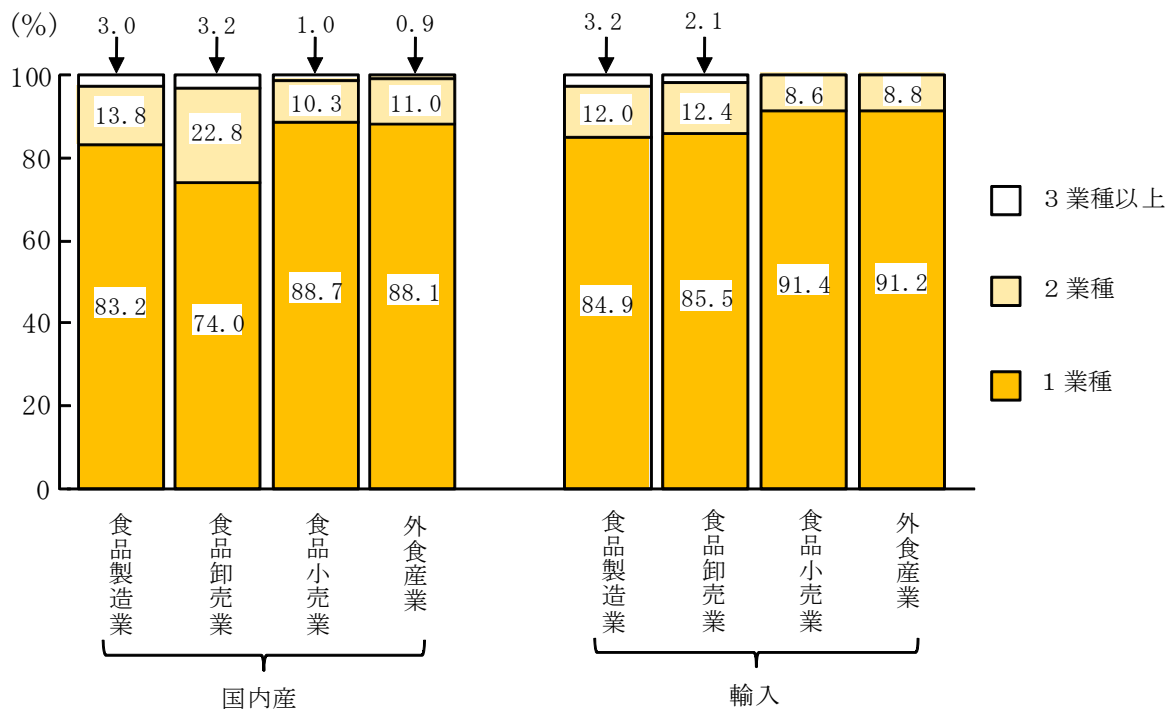
(8) 畜産物の業種別の仕入先業種数別仕入事業所数割合

ア 豚肉

業種別に仕入先別業種数別事業所数割合をみると、全ての業種において国内産、輸入とも1業種からの仕入れている割合が高くなっているものの、国内産の食品卸売業においては、複数業種からの仕入れ（2業種及び3業種以上）が他の業種と比べて高くなっている。

また、輸入でも、全ての業種において、1業種から仕入れている割合が高く、特に、食品小売業及び外食産業においては3業種からの仕入れが無い結果となっている。

図19 国内産及び輸入豚肉の業種別の仕入先業種数別事業所数割合（全国）（平成20年度）



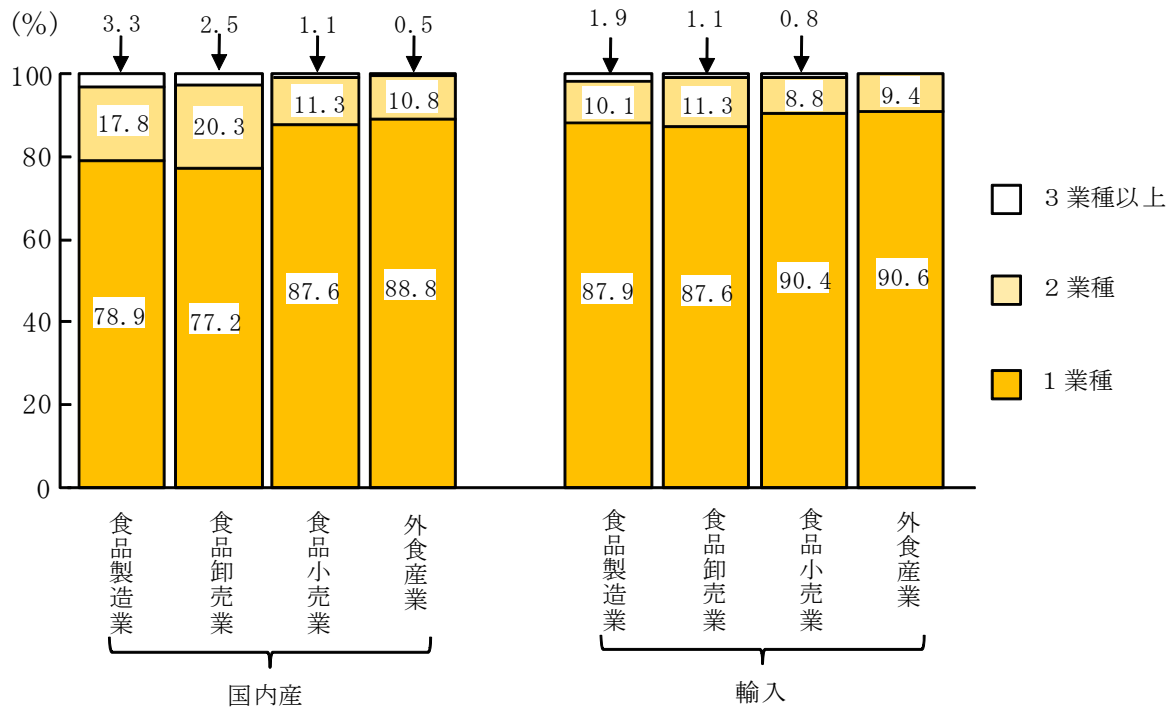
注：表示単位未満を四捨五入しているため、100%とならない場合がある（以下図21まで同じ。）。

イ 牛肉

業種別に仕入先別業種数別事業所数割合をみると、国内産では全ての業種で、1業種からの仕入れている割合が高くなっているものの、食品製造業、食品卸売業においては、複数業種（2業種及び3業種以上）からの仕入れが他の業種と比べて高くなっている。

また、輸入でも、全ての業種において、1業種から仕入れている割合が高く、特に、外食産業においては3業種からの仕入れが無い結果となっている。

図20 国内産及び輸入牛肉の業種別の仕入先業種数別事業所数割合（全国）（平成20年度）

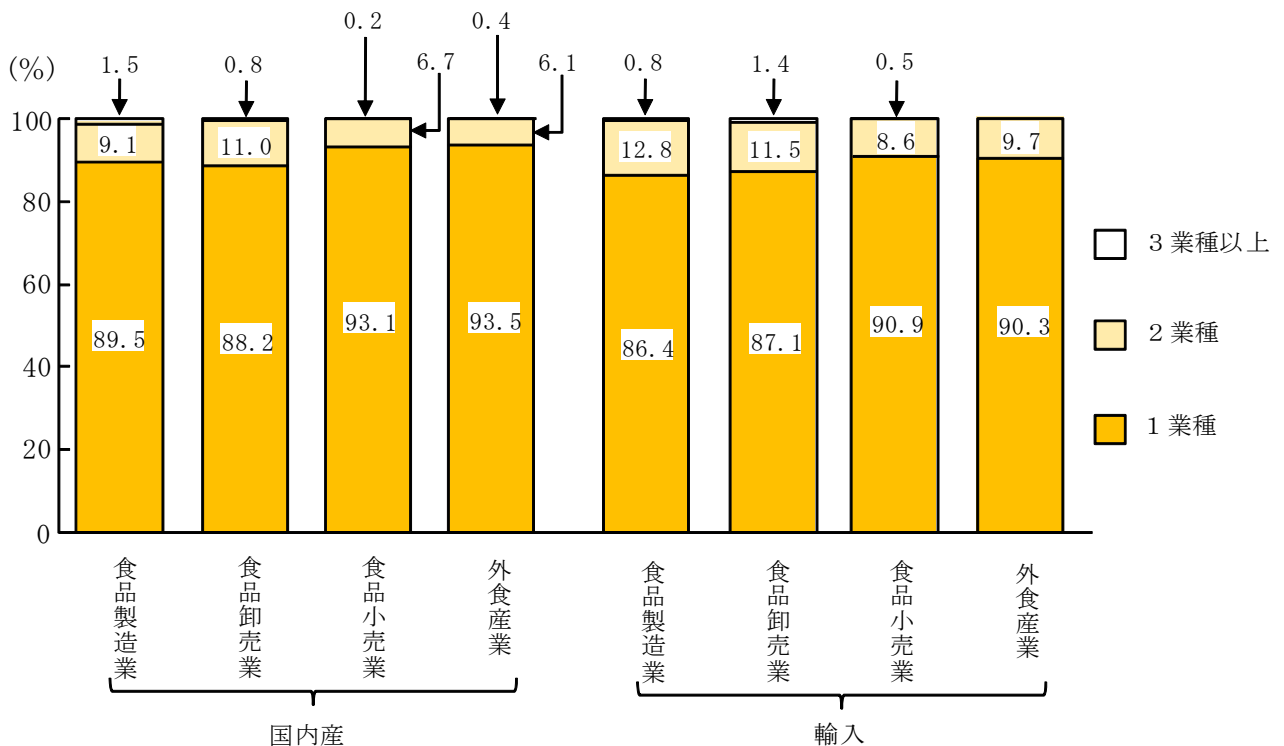


ウ 鶏肉

業種別に仕入先別業種数別事業所数割合をみると、国内産では全ての業種で、1業種から仕入れている割合が高くなっている。

また、輸入でも、1業種から仕入れている割合が高く、特に、外食産業においては3業種からの仕入れが無い結果となっている。

図21 国内産及び輸入鶏肉の業種別の仕入先業種数別事業所数割合（全国）（平成20年度）



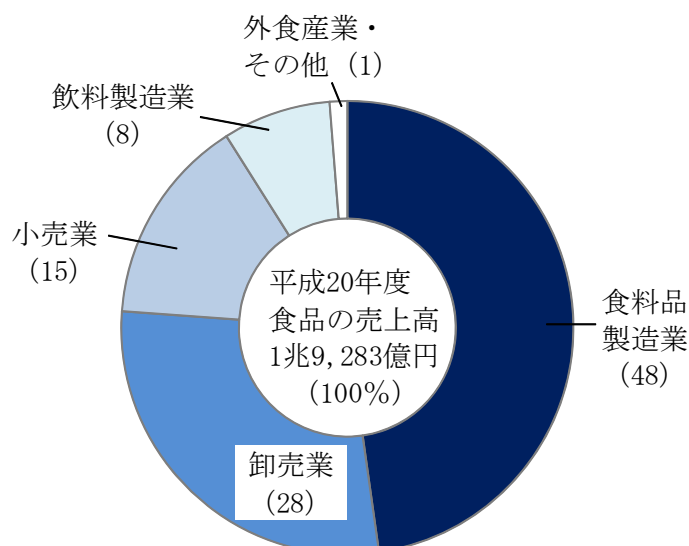
2 海外進出企業調査

(1) 食品の売上高

平成20年度の東アジア地域において食品を取り扱う現地法人の食品の売上高は1兆9,283億円となっている。

ア 業種別の売上高割合をみると、食料品製造業が48%と最も高く、次いで卸売業が28%、小売業が15%、飲料製造業が8%の順となっている。

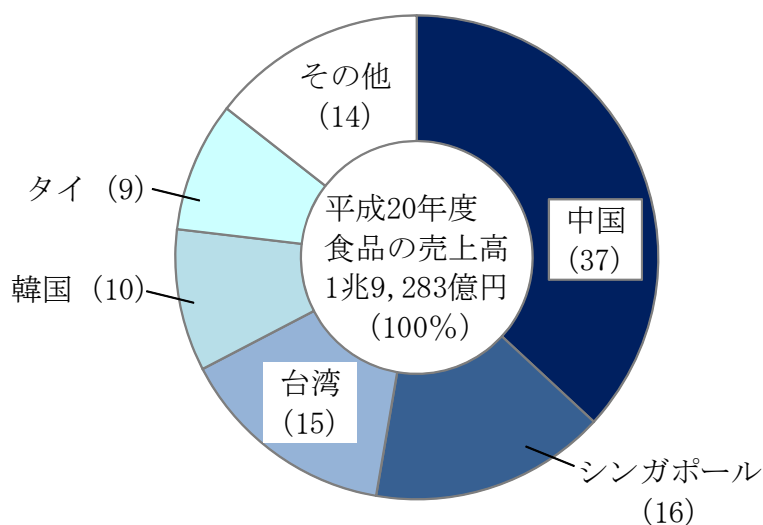
図22 食品の業種別売上高割合



注：食品の売上高の回答があった382現地法人についての業種別売上高割合である。

イ 国別・地域別の売上高割合をみると、中国が37%と最も高く、次いでシンガポールが16%、台湾が15%の順となっている。

図23 食品の国別・地域別売上高割合

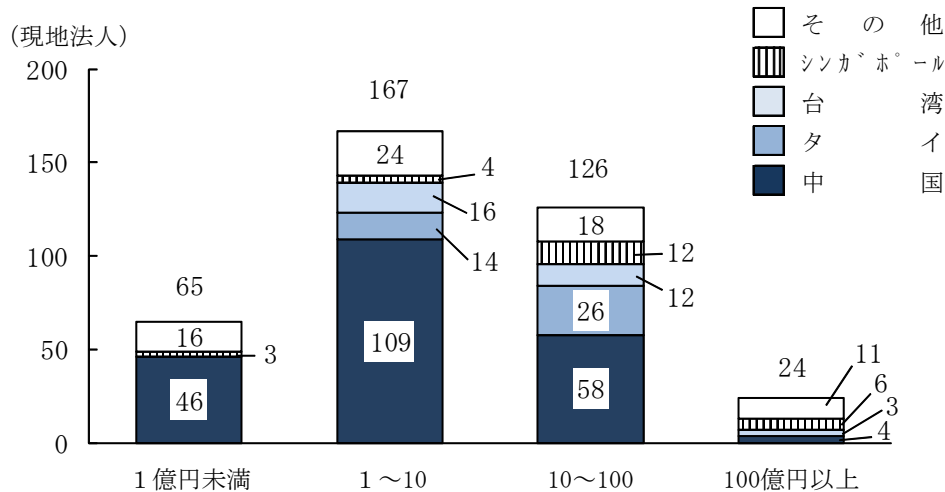


注：1 食品の売上高の回答があった382現地法人についての国別・地域別売上高割合である。
2 割合の合計が100%とならないのは、四捨五入によるものである。

(2) 食品の売上高規模別現地法人数

食品の売上高規模別現地法人数をみると、1～10億円の階層が167現地法人と最も多く、10億円～100億円が126現地法人となっている。

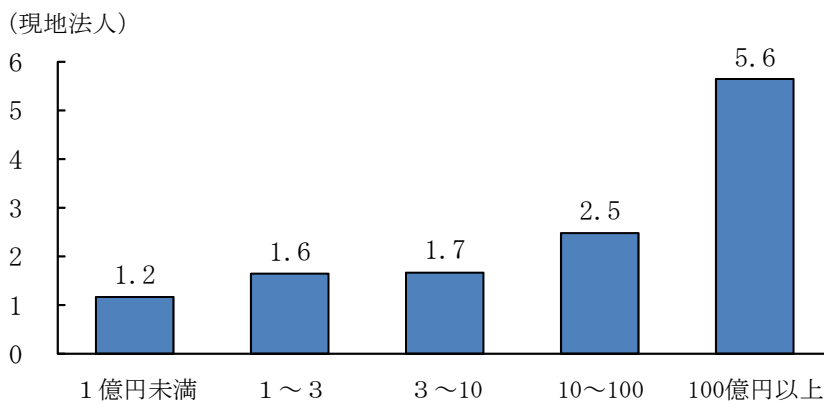
図24 食品の売上高規模別現地法人数(平成20年度)



(3) 本社企業の資本金規模別平均現地法人数

本社企業1社当たりの現地法人数を本社資本金規模別にみると、100億円以上の階層が5.6現地法人と最も多くなっている。

図25 本社企業の資本金規模別平均現地法人数(1社当たり)(平成20年度)



東アジア地域

本調査の東アジア地域とは、中国、台湾、韓国、シンガポール、マレーシア、タイ、フィリピン、インドネシア、ベトナム、ラオス、カンボジア、ミャンマー、ブルネイ及びインドの14か国・地域をいう。